

# 駅舎改修工事

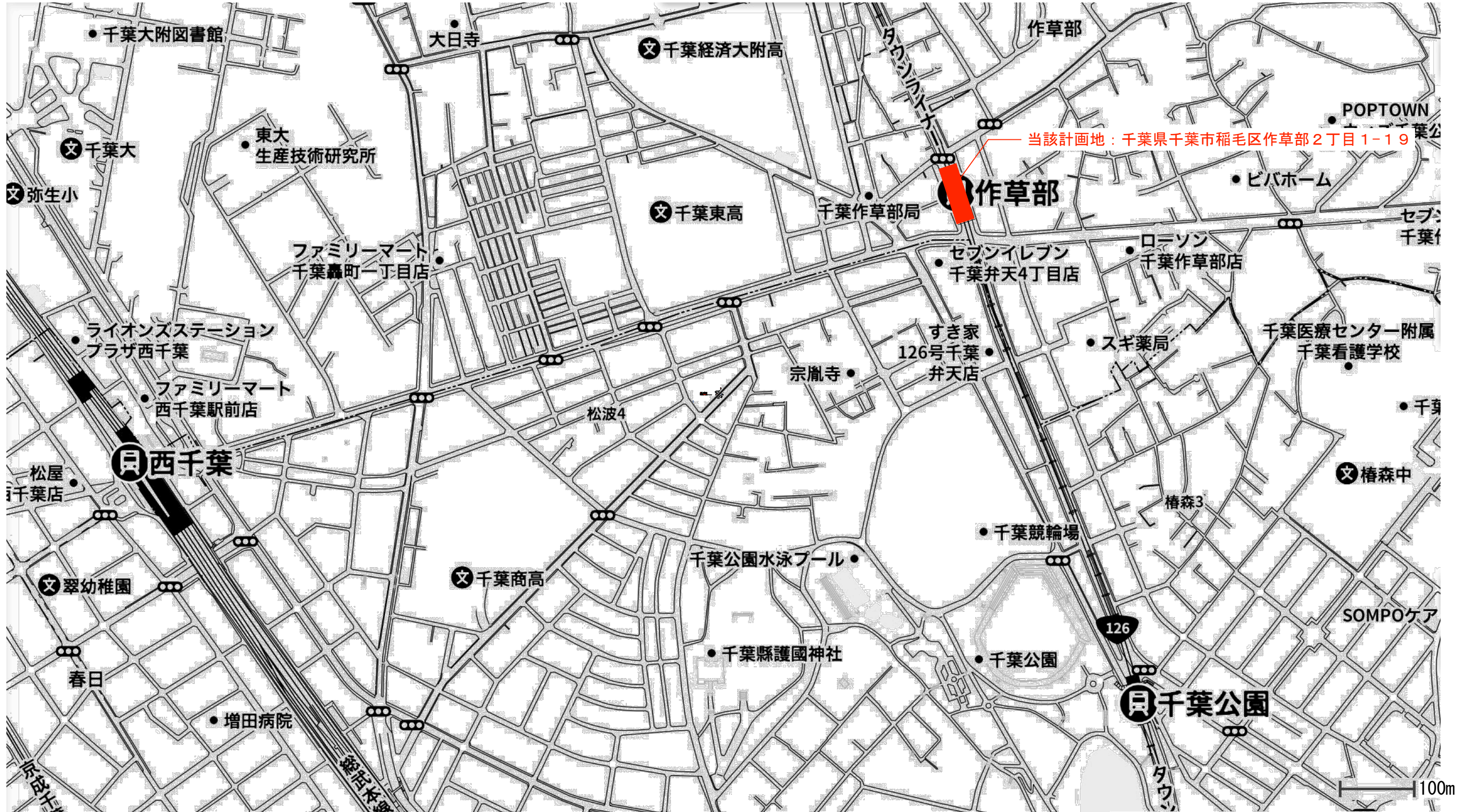
## 設計図

令和4年 3月

記 事			千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	表紙	日付		図面 番号
						工事箇所		縮尺					

図 面 目 録		
No.	名 称	縮 尺
1	案内図・建築概要	1/5000
2	停留場 既存屋根伏図	1/200
3	停留場 改修屋根伏図	1/200
4	停留場 コンコース階既存平面図	1/200
5	停留場 コンコース階改修平面図	1/200
6	北側軒天 改修天井伏図	1/200
7	改修立面図1	1/200
8	改修立面図2	1/200
9	改修立面図3	1/200
10	改修立面図4	1/200
11	改修立面図5	1/200
12	改修立面図6	1/200
13	改修立面図7	1/200
14	屋根改修詳細図1	1/5, 1/50, 1/100
15	屋根改修詳細図2	1/10
16	部分詳細図1	1/2, 1/10
17	部分詳細図2	1/10, 1/20
18	部分詳細図3	1/10
19	雑詳細図	1/25
仮1	仮設計画図(案)1	1/200
仮2	仮設計画図(案)2	1/200
仮3	仮設計画図(案)3	1/200
仮4	仮設計画図(案)4	1/200

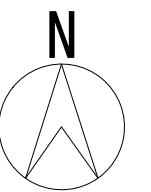




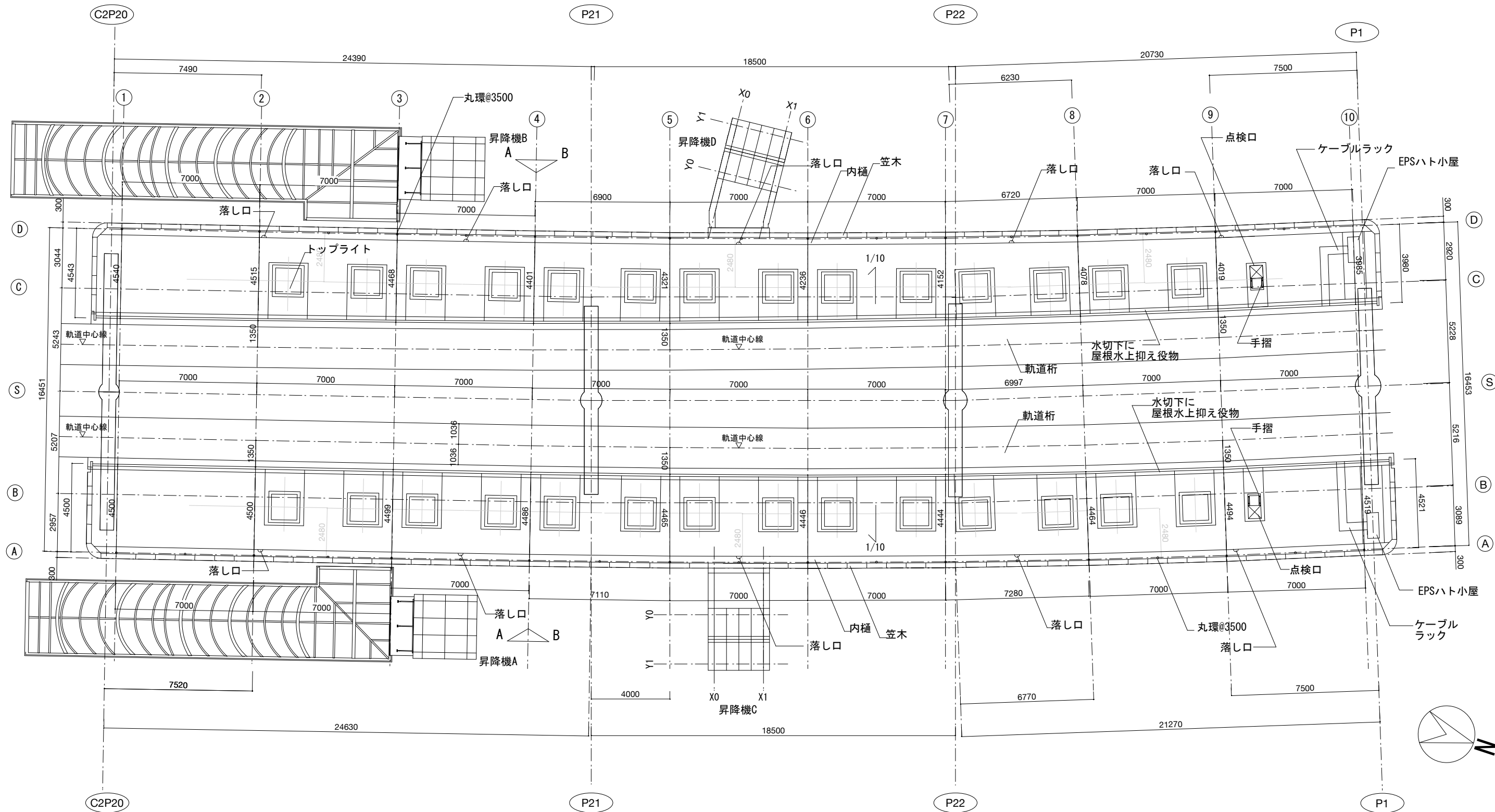
当該計画地：千葉県千葉市稲毛区作草部2丁目1-19

建築概要








工事名称	作草部駅 改修工事	高度地区	指定なし
計画地住所	千葉県千葉市稲毛区作草部 2丁目1-19	建ぺい率	80 %
構造・規模	鉄骨造 平屋建て	容積率	200 %
用途地域	近隣商業地域	日影規制	規制なし
防火地域	準防火地域		

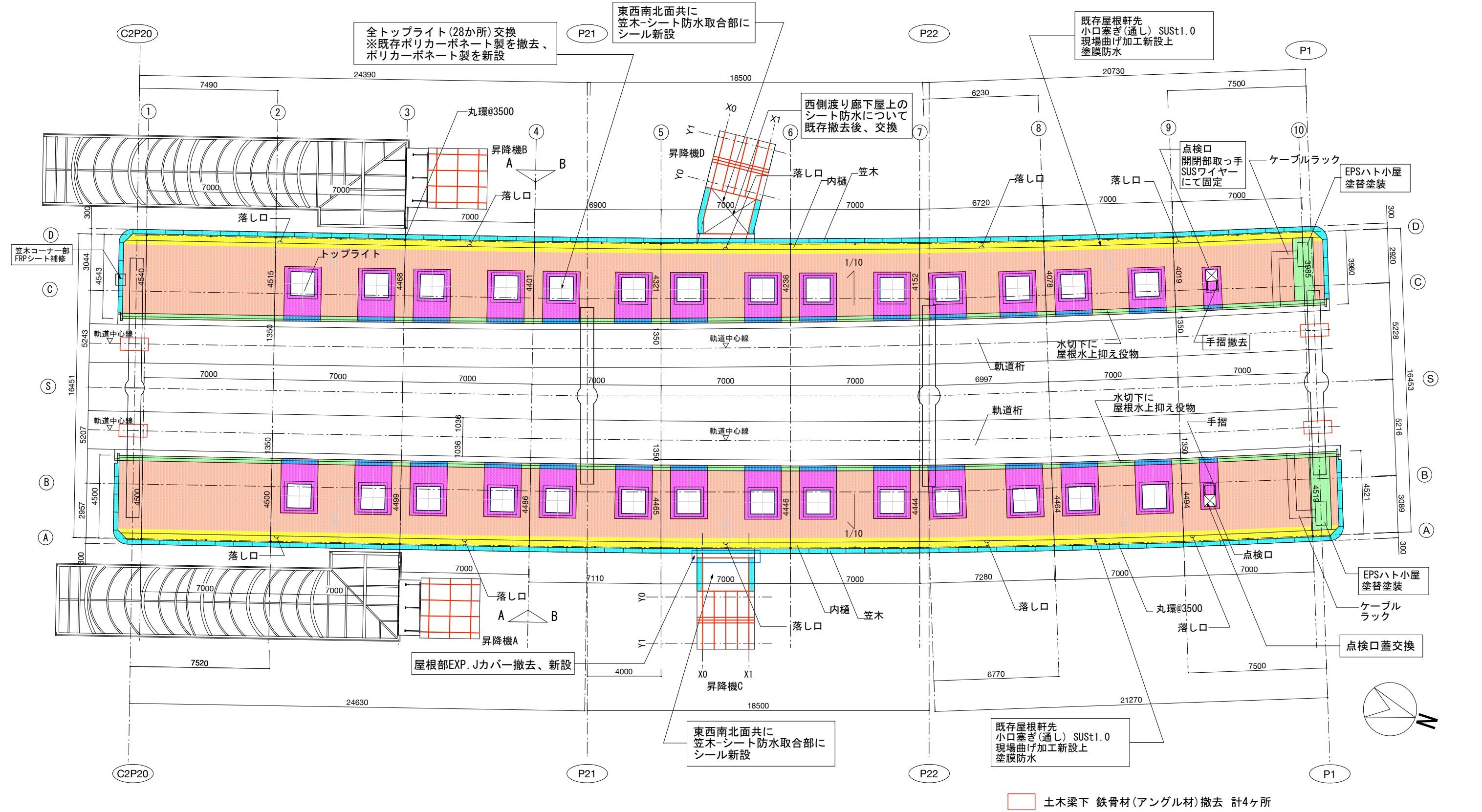











記 号	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	既存屋根伏図	日付	R4.03.11	巻数	1/200	層数	2
									工事箇所								

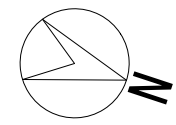
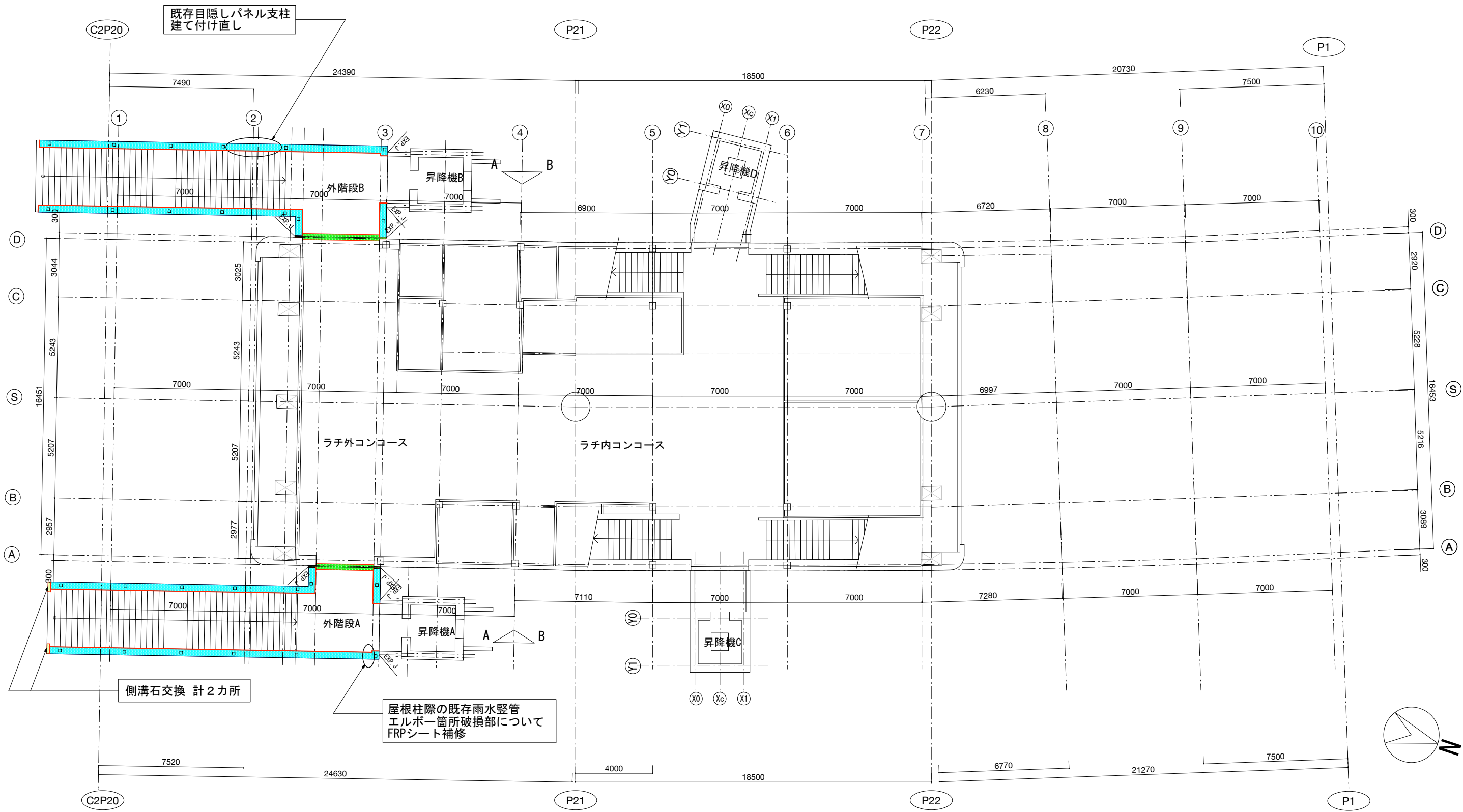
凡例			
	シーリング撤去、通り替え シーリング: 変成シリコン (2成分型)		既存防水の上、塗膜防水
	笠木シーリング撤去、通り替え範囲 約1200ピッチ ※笠木は天端、側面共シーリング撤去、 通り替えの上ブリッジ工法とする。		塗膜防水新設
	トップライト廻り及び点検口廻りについて 屋根上の既存仕上げ(含地下地共)撤去後、 軽重鉄骨下地(筋を調整含む)、化粧鋼板1.6、 水下を除く三辺についてシーリング、塗膜防水		ハト小屋について ハト小屋本体、下部水切り役物共に ケレン(三種)後、塗替塗装、シーリング ケレン(三種)後、塗替塗装、シーリング 塗り替え - 既存屋根水上抑え役物(板金曲げ加工)について ケレン(三種)後、塗膜防水 - 土木躯体取り合いの既存SUS製水切について 長手方向連結部のシーリング撤去、 ブリッジシーリング新設
	トップライト廻り及び点検口廻り既存屋根 水上抑え役物(板金曲げ加工)について ケレン(三種)後、ビス部シーリング、塗膜防水		



 土木梁下 鉄骨材(アングル材)撤去 計4ヶ所

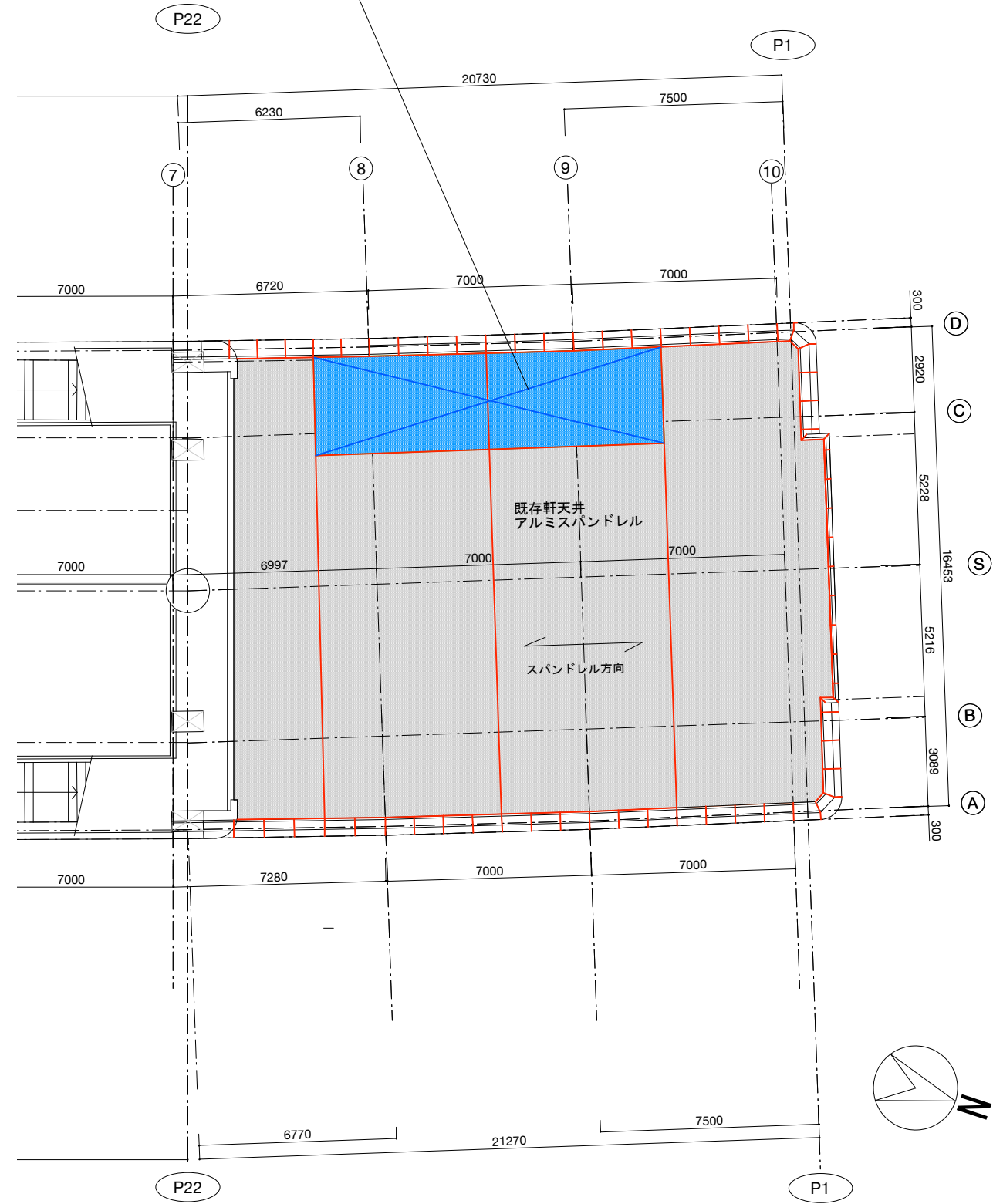


凡例			
	シーリング撤去、塗り替え シーリング: 変成シリコン (2成分型)		既存樹脂製EXP.Jカバー(下地共)撤去、 SUS製EXP.Jカバー新設 シーリング撤去、交換
	笠木シーリング撤去、塗り替え範囲 約1200ピッチ ※笠木は天端、側面共シーリング撤去、 塗り替えの上ブリッジ工法とする。		階段側溝石 撤去、交換 御影石 厚30 水磨き仕上げ



記 率	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	コンコース階 改修範囲平面図	日付	R4.03.11	巻数	1/200	図面番号	5
									工事箇所								

表記範囲に水抜き穴を新設、  
スパンドレル各枚に長手方向両端部付近に設置

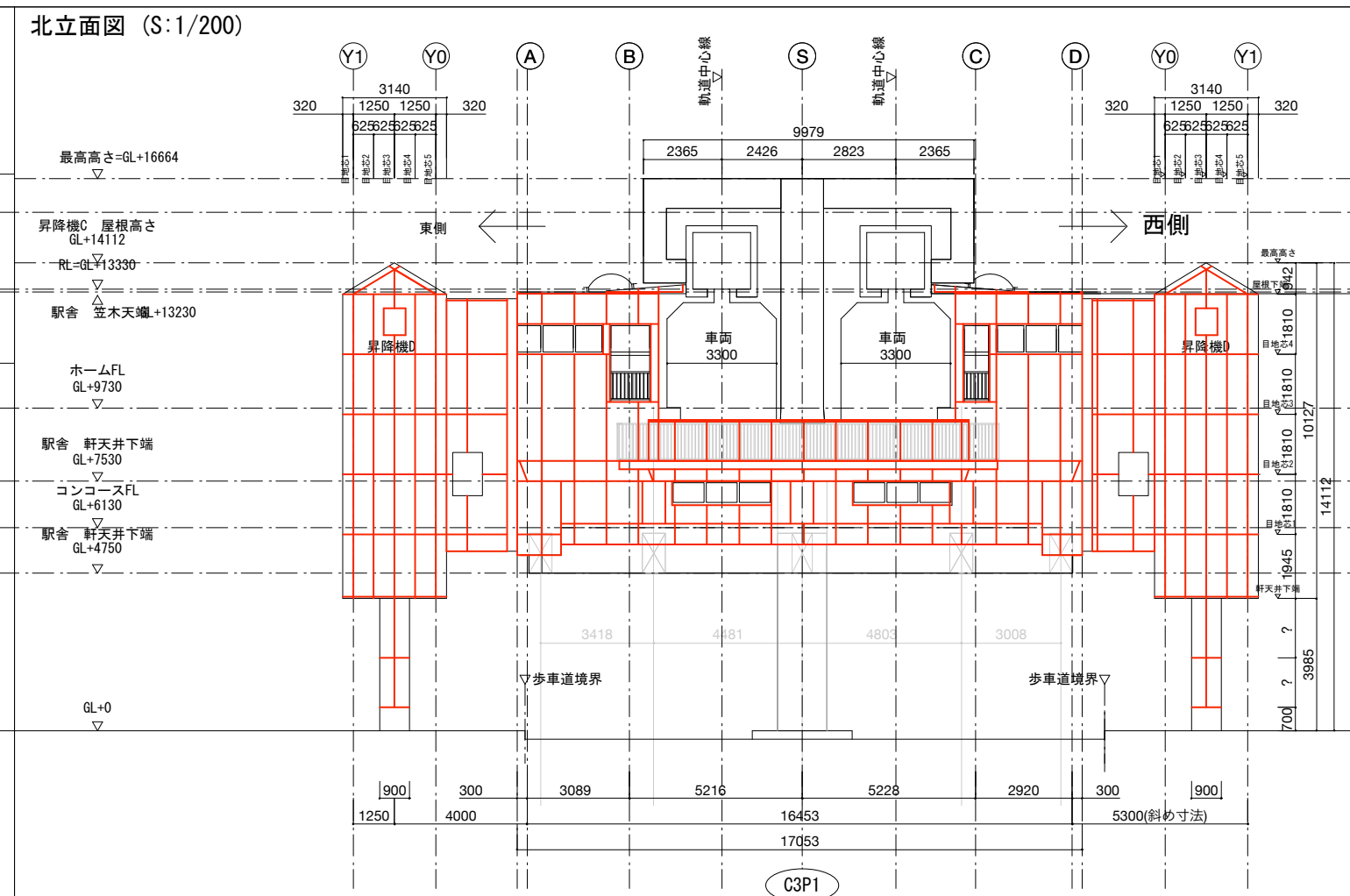
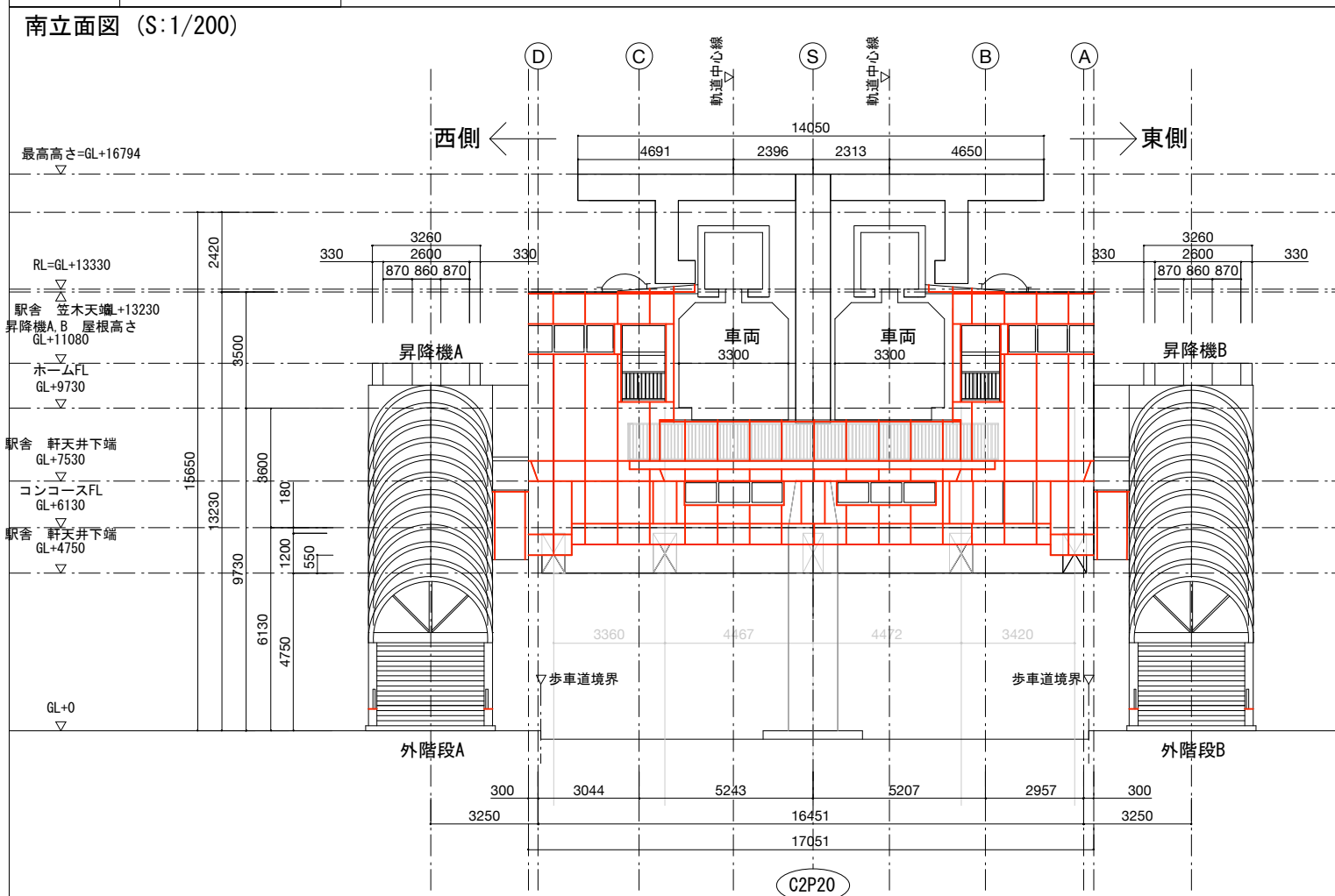
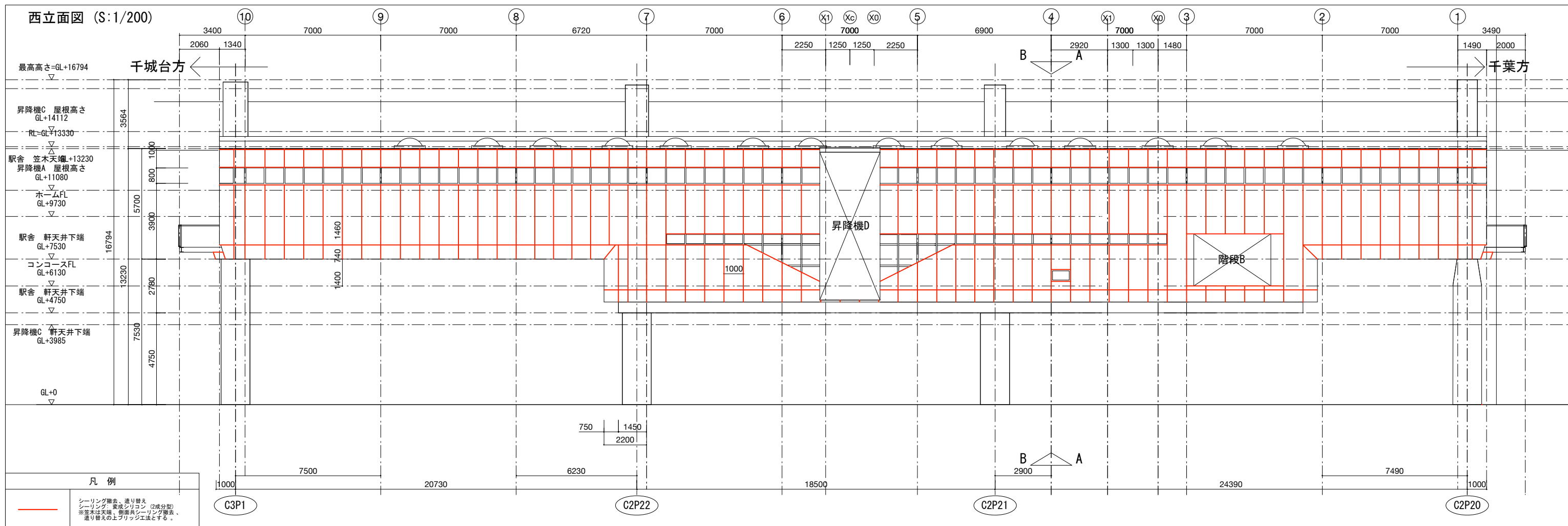


凡 例	
	シーリング遣り替え

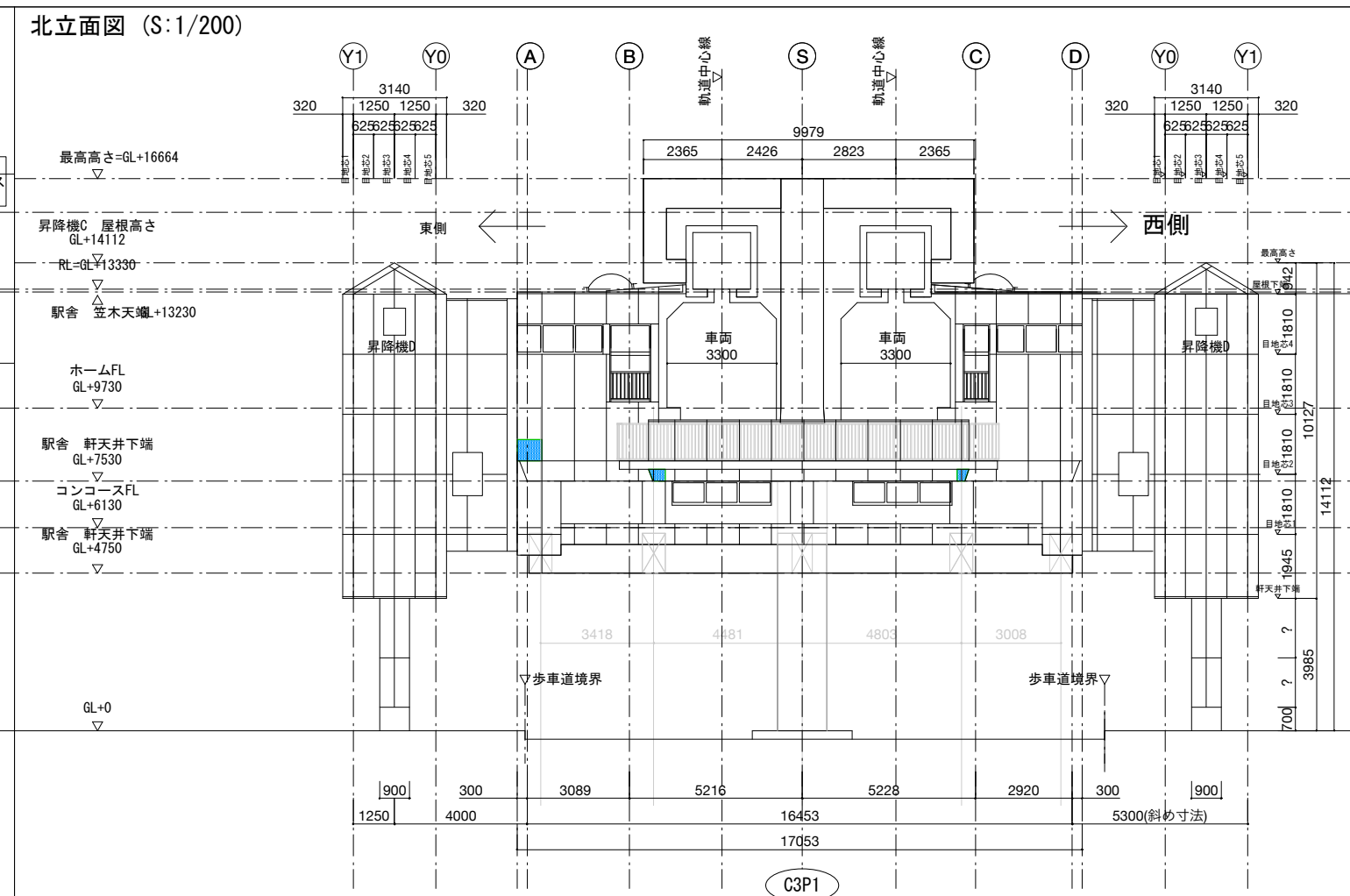
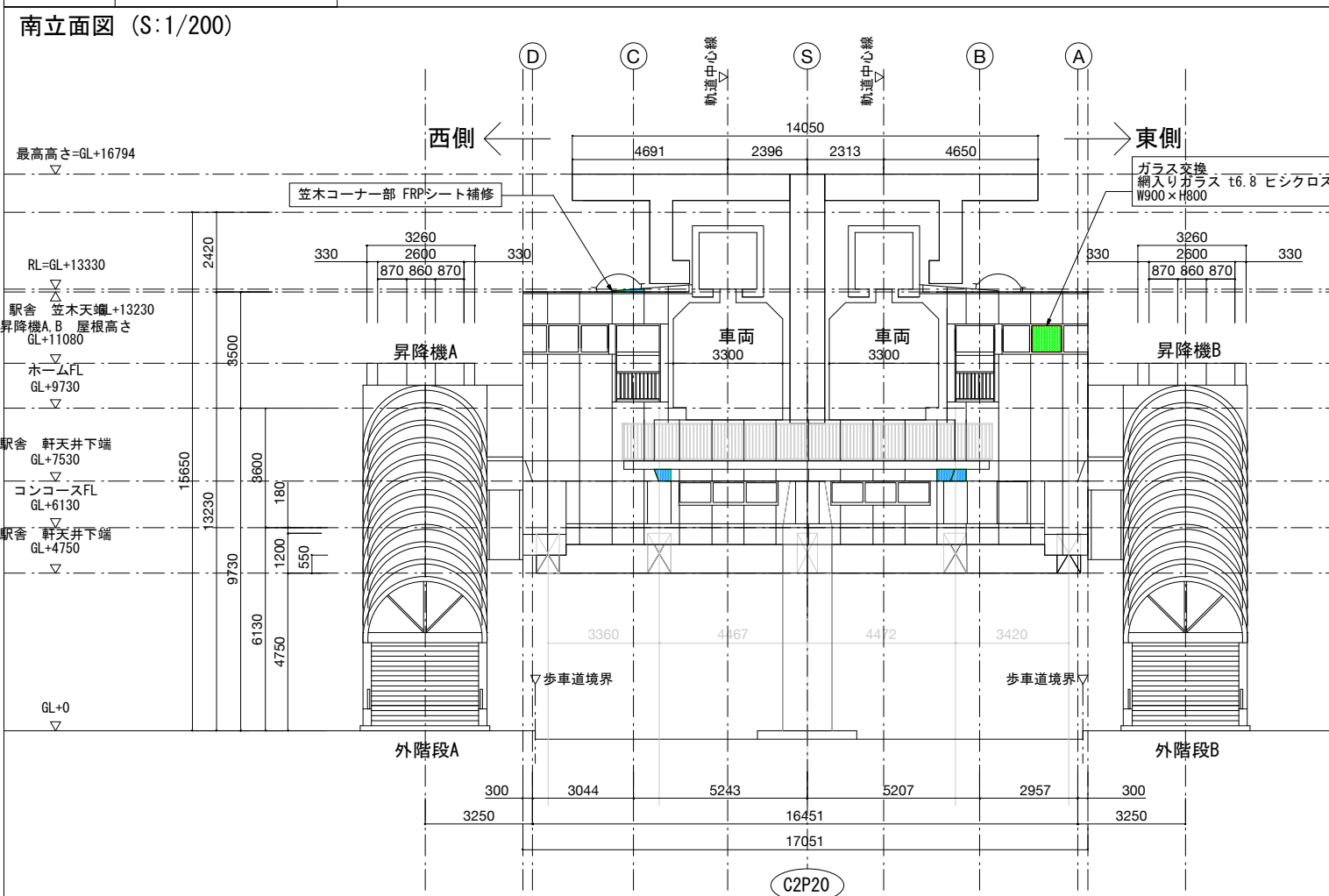
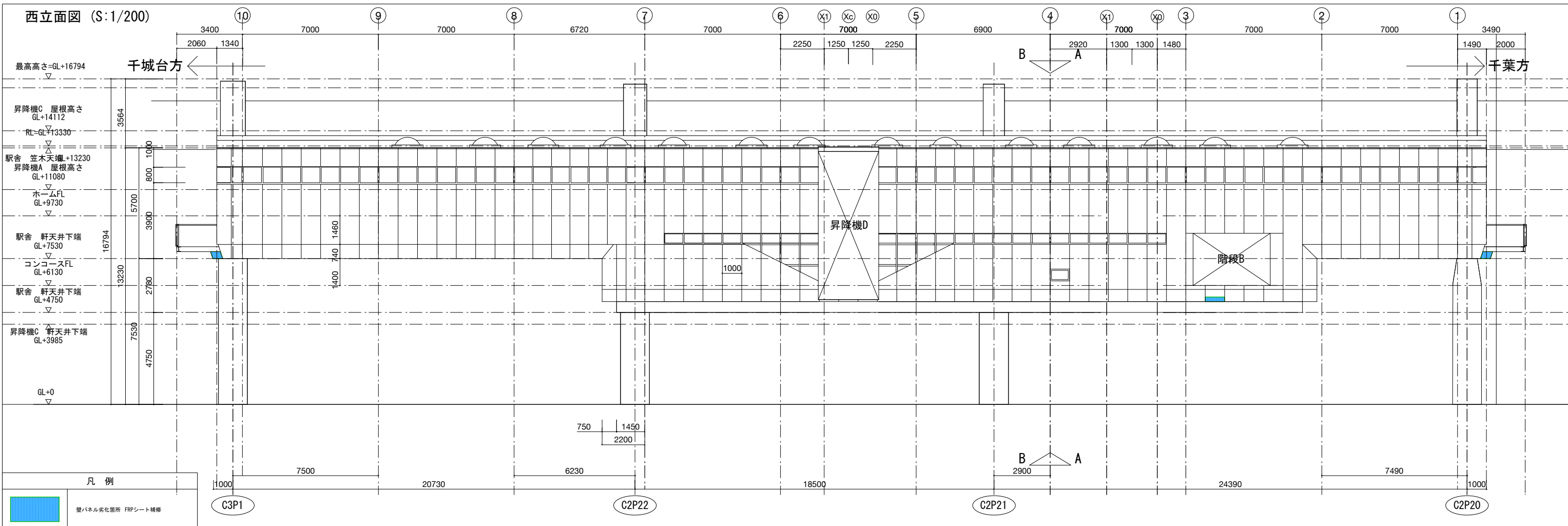
北側軒天 改修天井伏図(S:1/200)

記 率	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	北側軒天 改修天井伏図	日付	R4.03.11	巻数	1/200	ページ	6
									工事箇所								

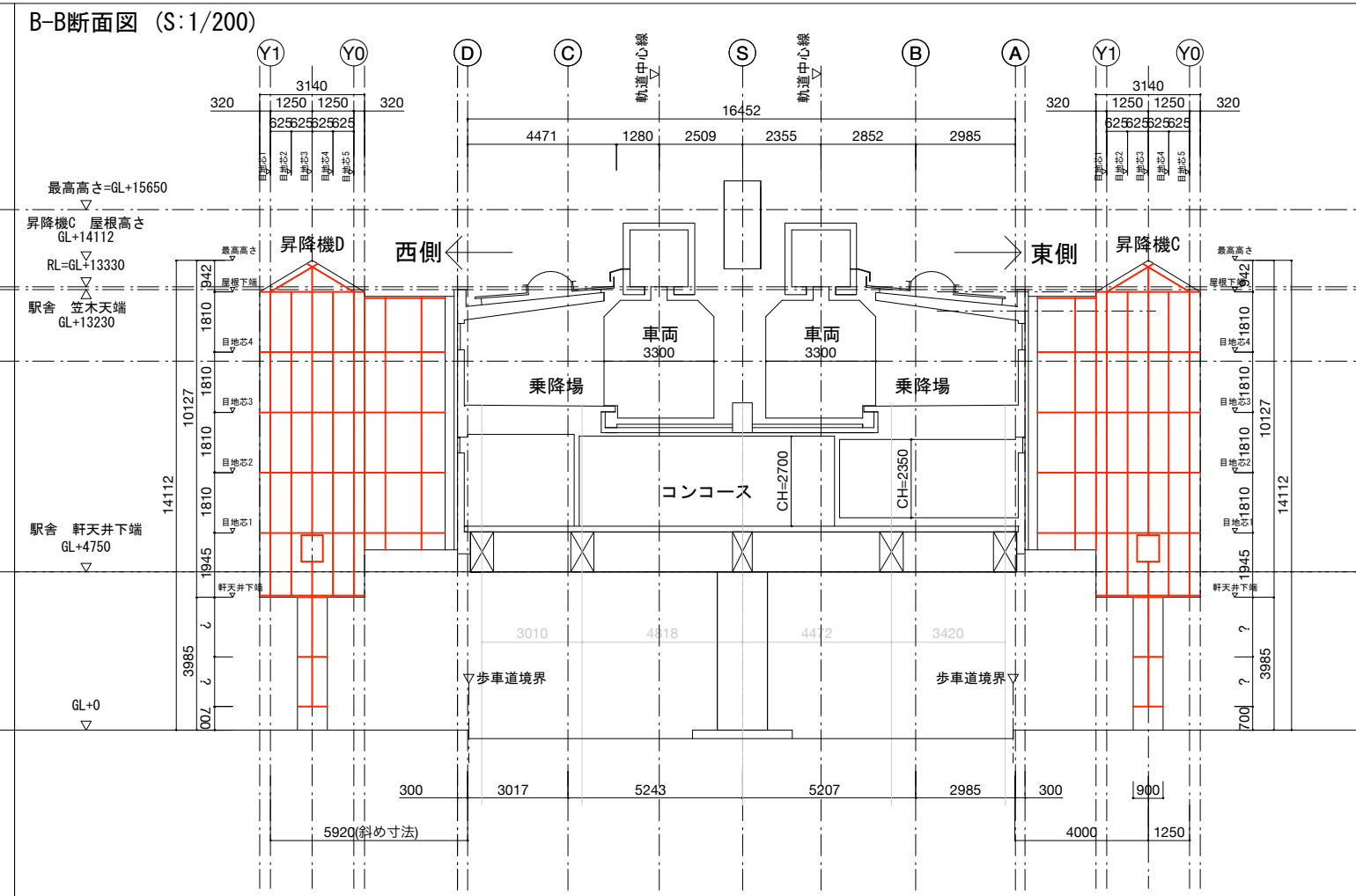
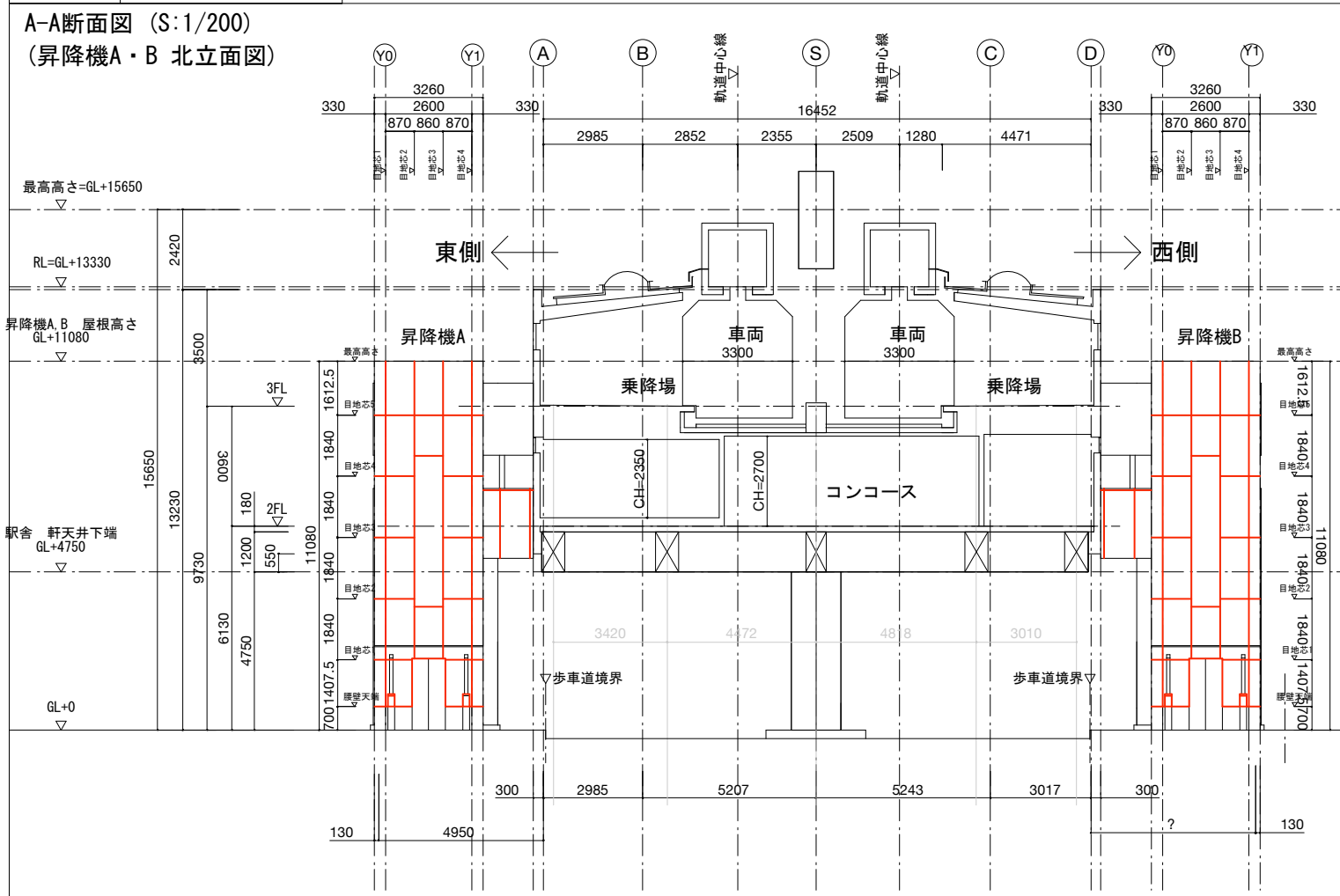
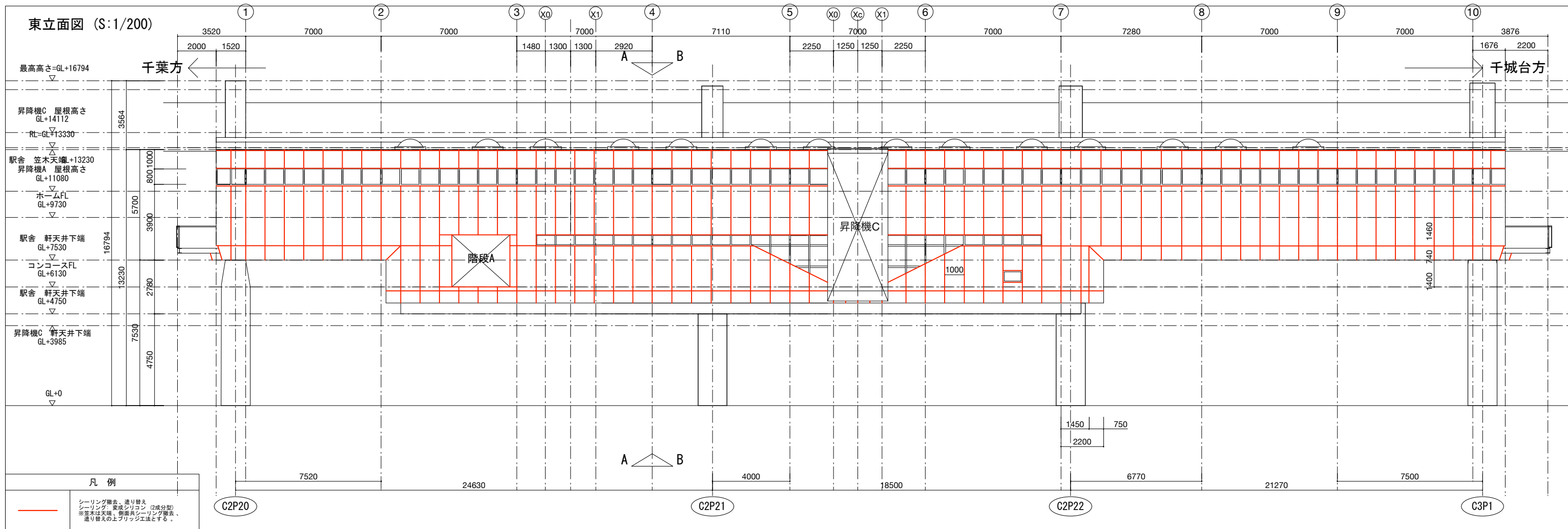




千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	改修立面図1	日付	R4.03.11	巻数	7
				工事箇所				縮尺	1/200		



記		千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	改修立面図2	日付	R4.03.11	巻数	8
率						工事箇所				縮尺	1/200		



記	千葉都市モノレール株式会社	管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	改修立面図3	日付	R4.03.11	製	9
率					工事箇所				縮尺	1/200	製	

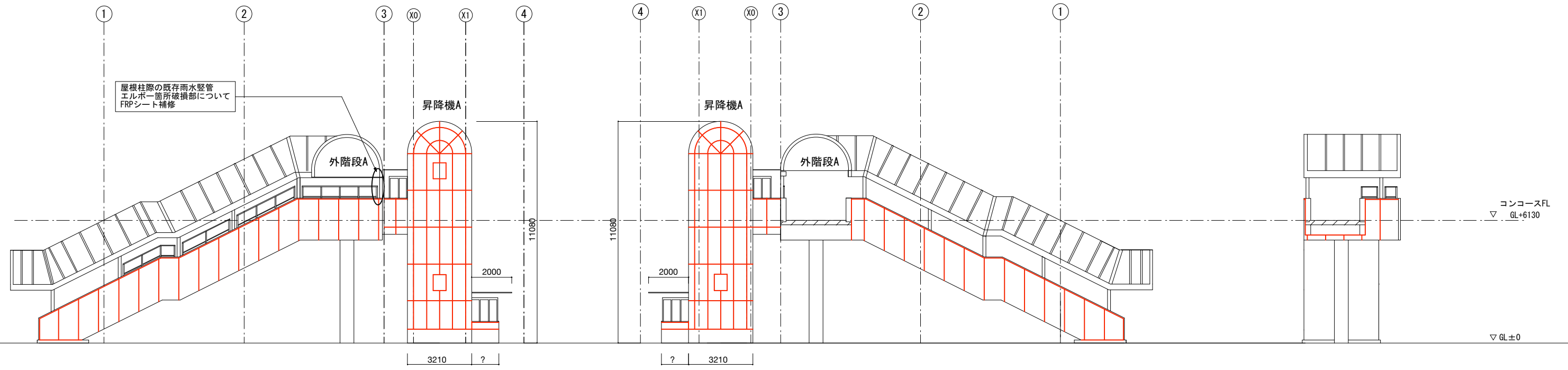




駅舎東側階段A 東立面図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 西立面図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 北立面図 (S:1/200)



凡 例

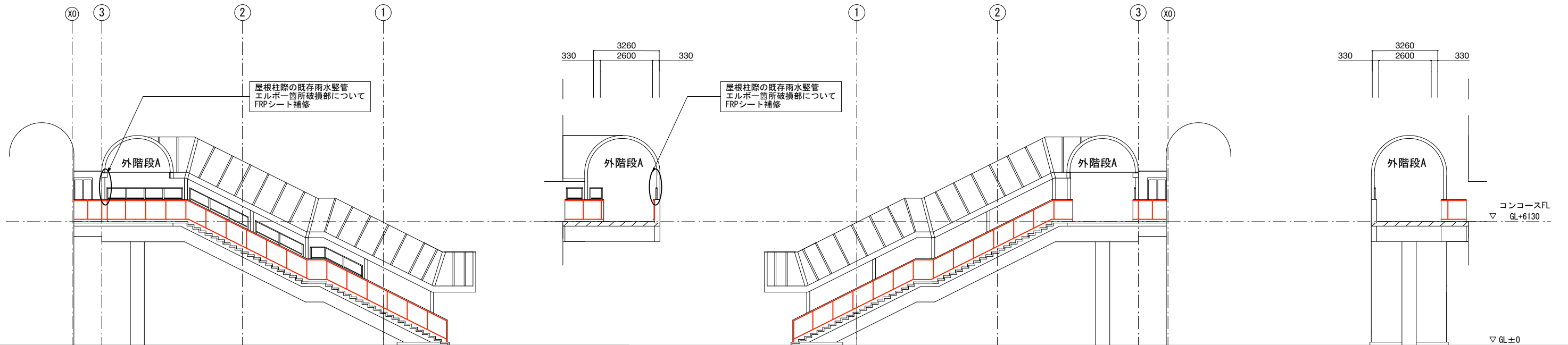
シーリング撤去、通り替え  
 シーリング 実線シロコシ (2成分型)  
 ※窓木は天端、側面共シーリング撤去、  
 通り替えの上ブリッジ工法とする。

駅舎東側階段A 東面展開図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 北面展開図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 西面展開図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 南面展開図 (S:1/200)

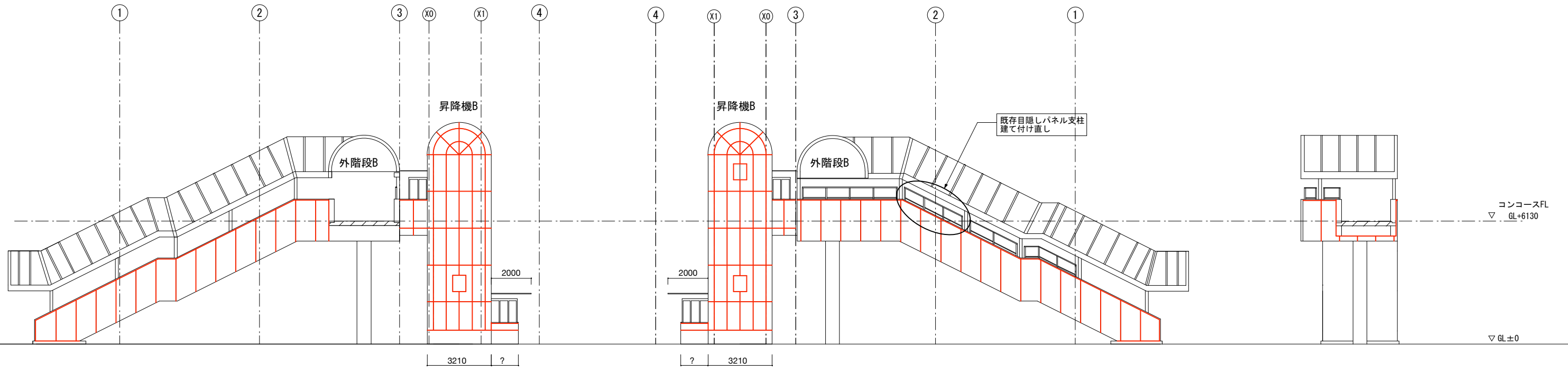


記 号	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	改修立面図5	日付	R4.03.11	巻数	11
								工事箇所			縮尺	1/200	図面番号		

駅舎西側階段B 東立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 西立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 北立面図 (S:1/200)



凡例

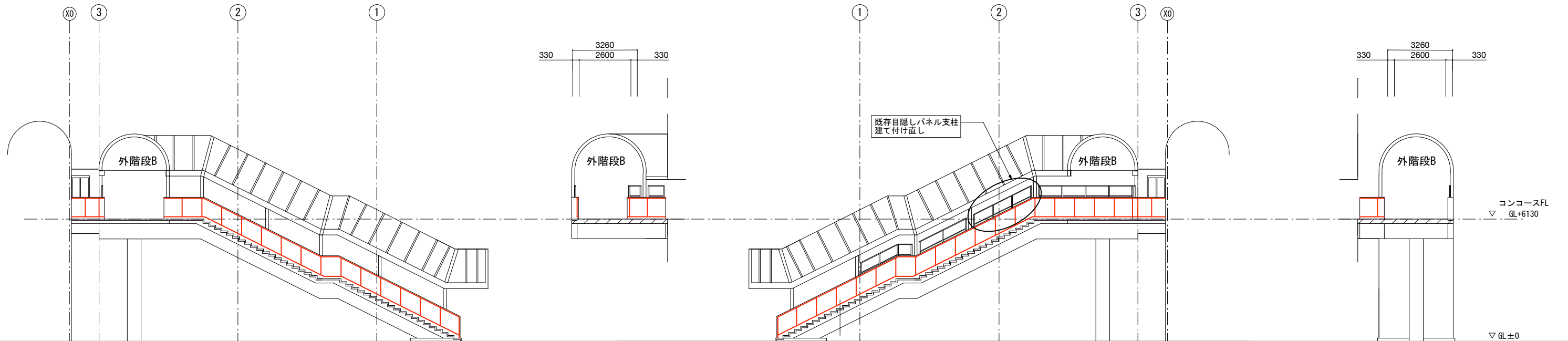
— シーリング撤去、通り替え  
 シーリング 実線シリコン (2成分別)  
 ※窓木は天端、側面共シーリング撤去、  
 通り替えの上ブリッジ工法とする。

駅舎西側階段B 東面展開図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 北面展開図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 西面展開図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 南面展開図 (S:1/200)



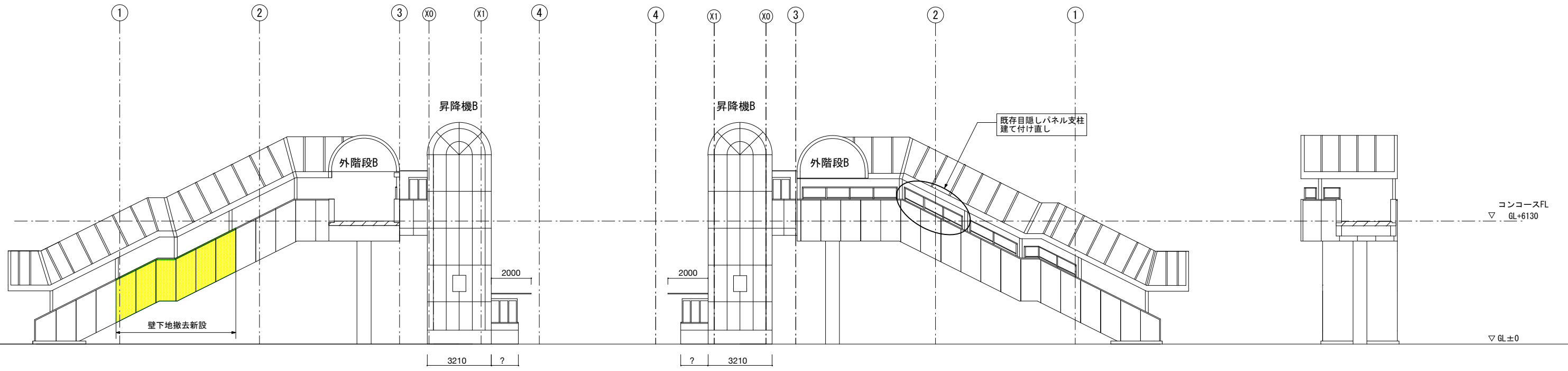
記 号	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	改修立面図6	日付	R4.03.11	巻数	12
								工事箇所			縮尺	1/200	図面番号		



駅舎西側階段B 東立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 西立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 北立面図 (S:1/200)



凡例

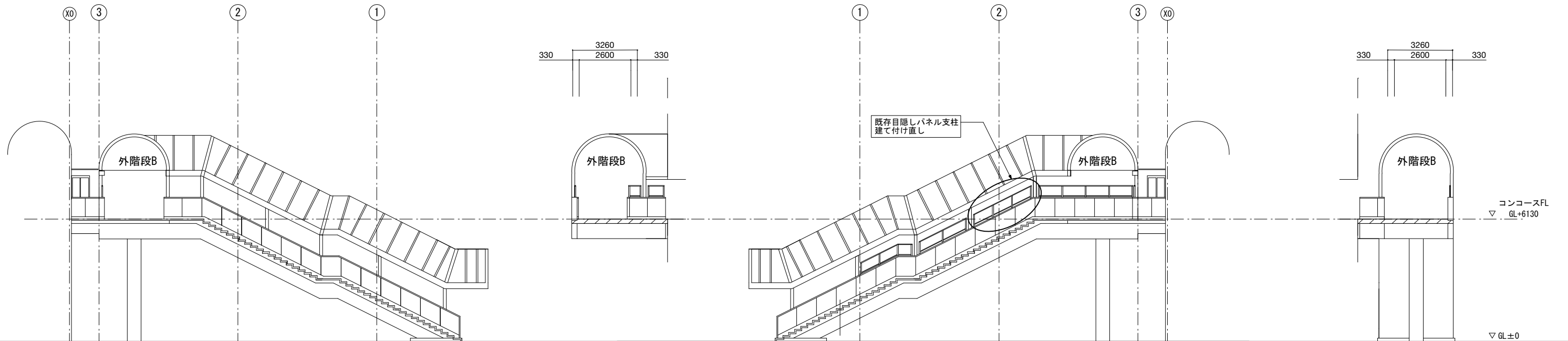
壁下地を撤去、新設  
(上記に際し、既存壁パネル、笠木を  
一時撤去、再取り付け)

駅舎西側階段B 東面展開図 (S:1/200)

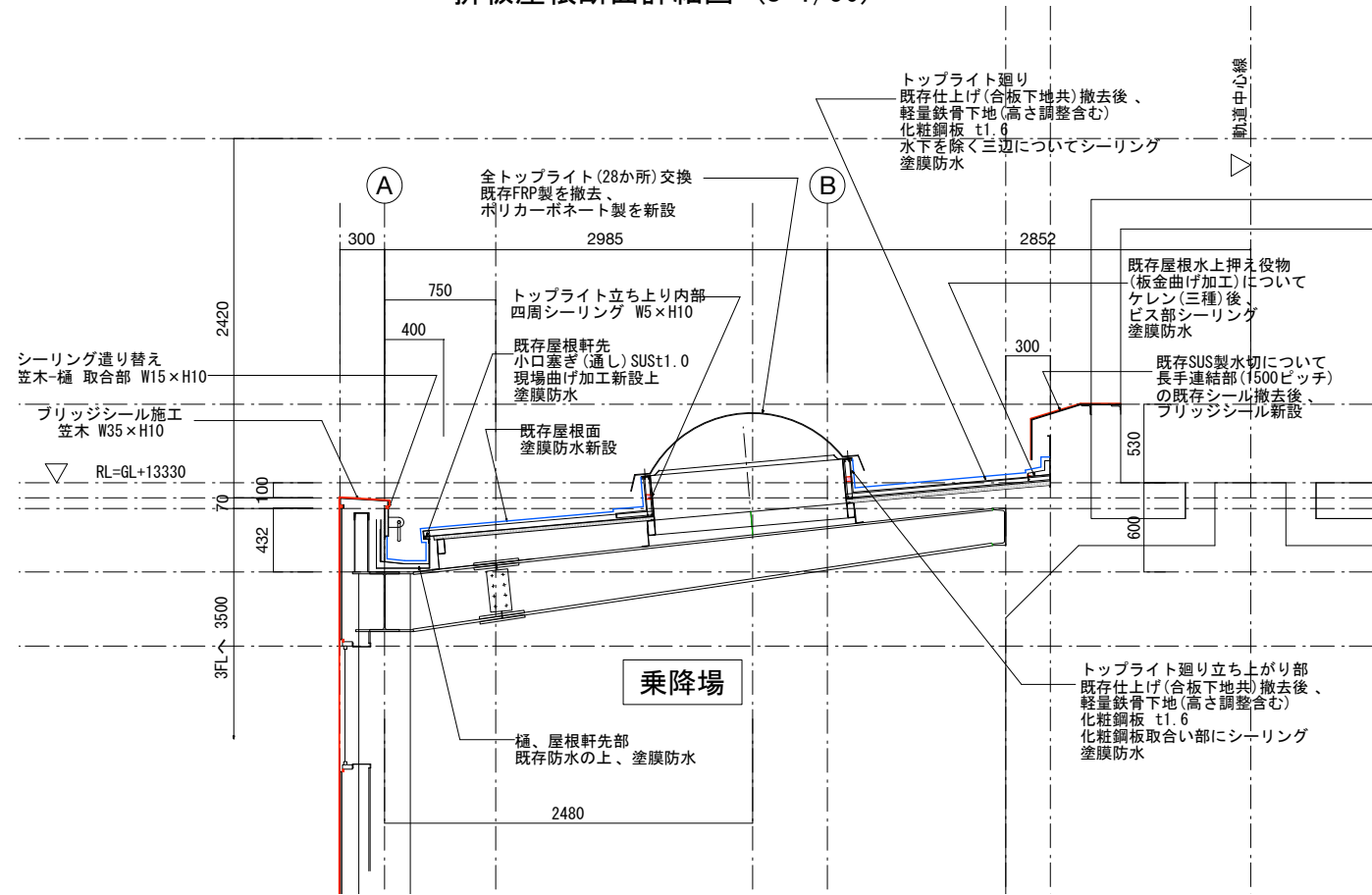
駅舎西側階段B 北面展開図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 西面展開図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 南面展開図 (S:1/200)



折板屋根断面詳細図 (S:1/50)



塗膜防水仕様(参考)

※飛び火認定品を使用すること

既存下地	
下地調整	RC種 汚れ・付着物除去、研磨紙ざりP240~320
下塗塗装	弱溶剤形変成エポキシ樹脂塗料 (参考)サビタイトマイルド(グレー)
下塗塗装	ウレタン防水材 水系下塗り材 (参考)ポースイテックス#5000シーラー(乳白色)
クロス貼り	塗膜防水用補強布(ガラスクロス) (参考)ポースイテックスクロスAD
中塗塗装	ウレタン防水材 (参考)ポースイテックス#3000(立面用)(グレー)
上塗塗装	ウレタン防水材 (参考)ポースイテックス#3000(立面用)(グレー)
上塗塗装	ウレタン防水材 (参考)ポースイテックス#3000(グレー)
トップコート	水性2液形アクリルウレタン樹脂塗料 (参考)水系ソフトトップコートAU(グレー)

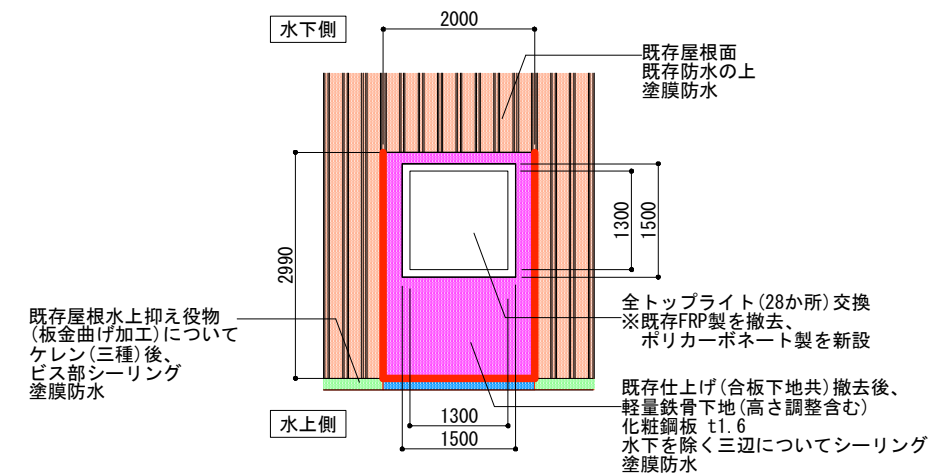
凡例

表示	防水仕様
	塗膜防水
	シーリング打ち替え

勾配係数 (S:1/100)

本図面は平面で寸法を記入しているため、計算結果に勾配に則した係数を乗ずる。

$$\lambda = \sqrt{(10^2 + 1^2)} / 10 = 1.0050$$



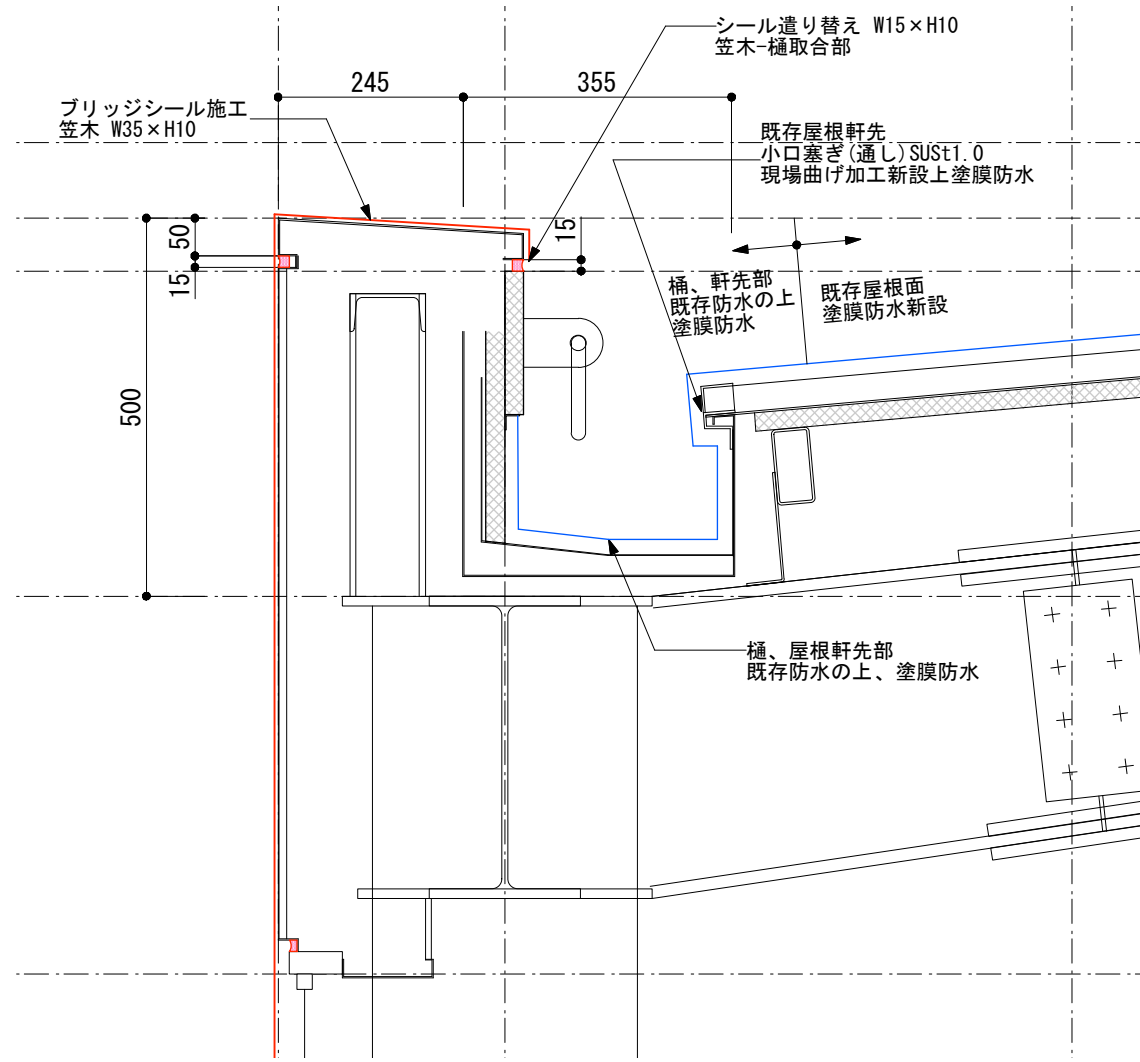
凡例	
	塗膜防水新設
	塗膜防水施工前にシーリング新設
	屋根上の既存仕上げ(合板下地共)撤去後、軽量鉄骨下地(高さ調整含む)、化粧鋼板 t1.6、水下を除く三辺についてシーリング、塗膜防水
	既存屋根水上抑え役物(板金曲げ加工)についてケレン(三種)後、ビス部シーリング、塗膜防水
	既存屋根水上抑え役物(板金曲げ加工)についてケレン(三種)後、塗膜防水

- ※建築限界に抵触する恐れのある作業について、夜間線路閉鎖の上、実施すること。
- ※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。
- ※下地調整において、塗膜または防水層に不良部が確認された場合は、除去し、同工程で施工すること。
- ※下地調整において、必要に応じて高圧洗浄を行うこと。
- ※シーリング材は、MS-2を使用すること。
- ※シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に施工すること。
- ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。
- ※使用する材料については、事前に附着試験を実施すること。
- ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。
- ※防水仕様については、設計図記載のダイフレックス(株)製品の性能と同等以上とすること。
- ※屋根上作業においては、親綱を用いて落下防止対策を施すこと。

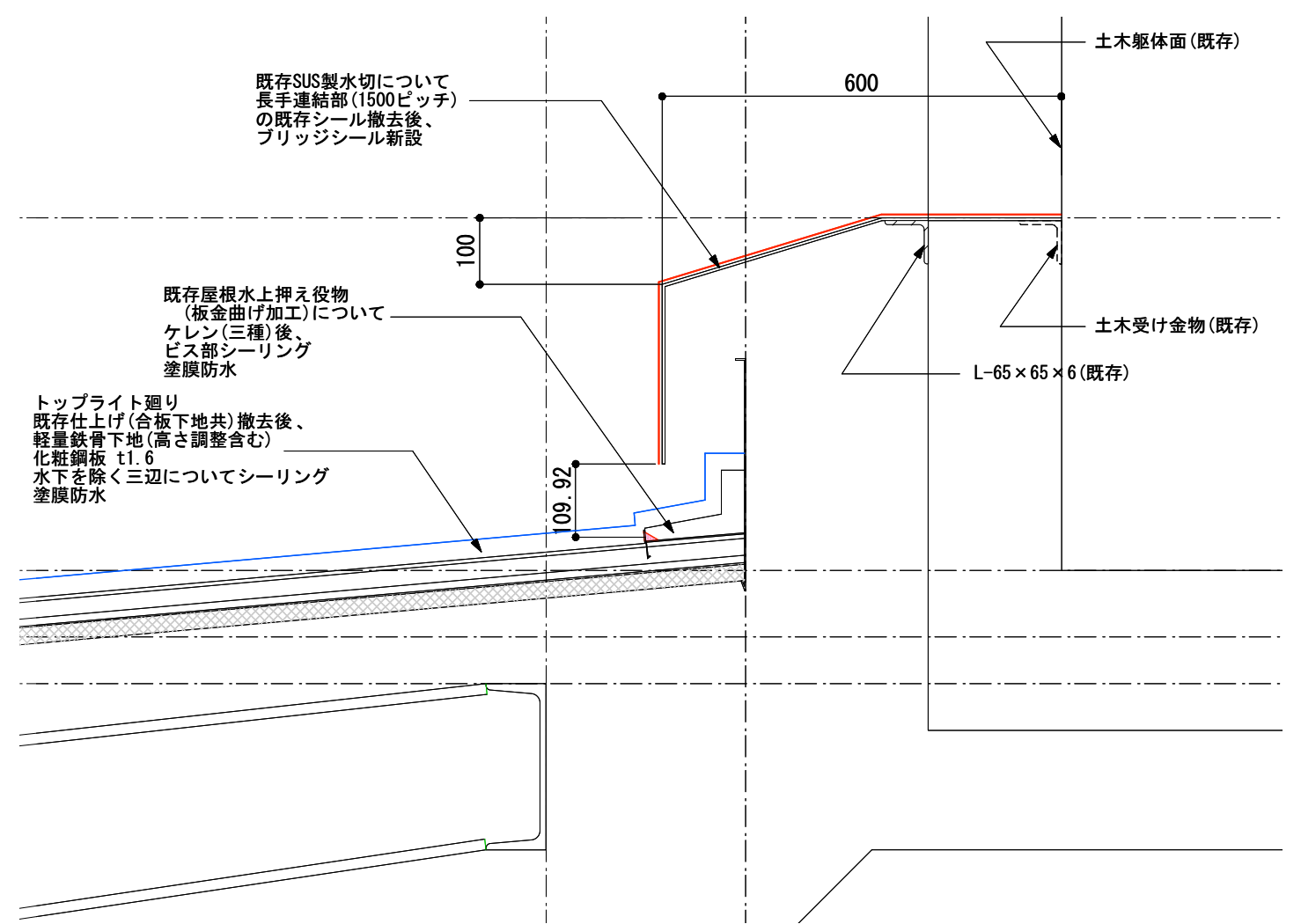
注記

1. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で、形状寸法を確認すること。
2. 図中の補修範囲は、現地踏査及び点検結果に基づくものであり、施工にあたっては、現地状況を十分に把握し、監督員の了承の上で行うこと。
3. 土木躯体との取り合い、または異種金属同士の取り合いは特記なき限り絶縁ゴムシートt=2にて縁を切るものとする
4. 既存部解体、撤去に際してはアスベスト対策を講ずること

笠木-樋詳細図 (S:1/10)



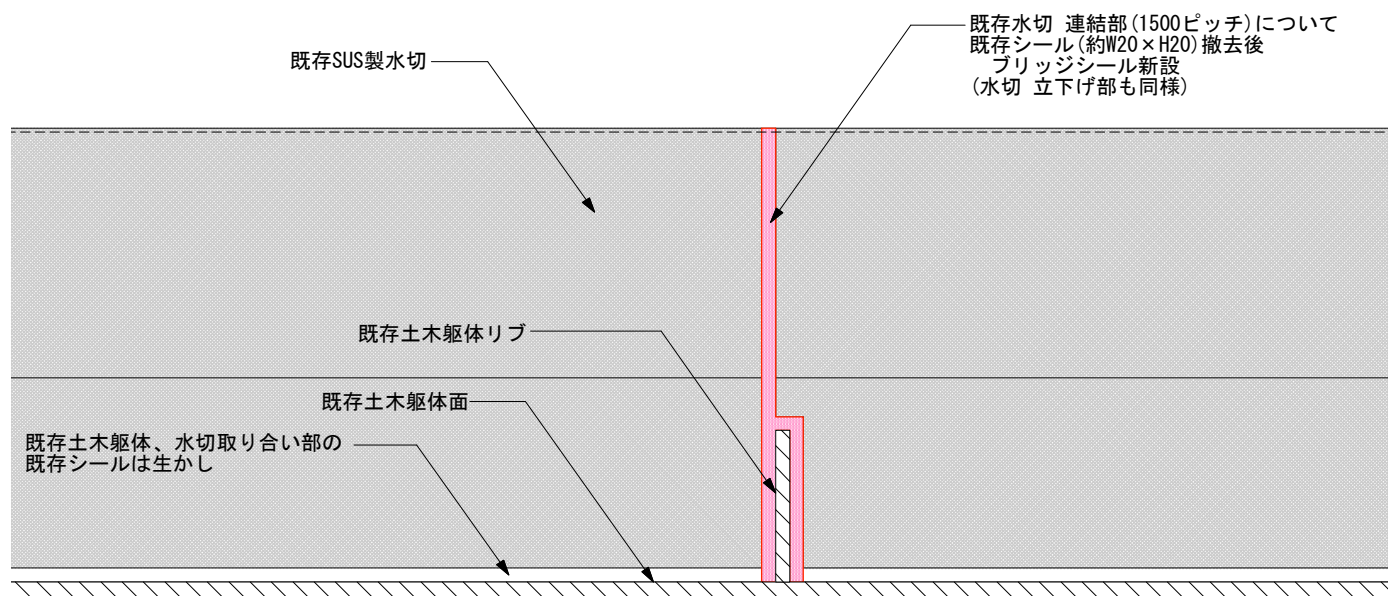
屋根水上-土木取合部 詳細図 (S:1/10)



凡 例

表示	防水仕様
	塗膜防水
	シーリング打ち替え

屋根水上-土木取合 SUS水切部 平面詳細図 (S:1/10)



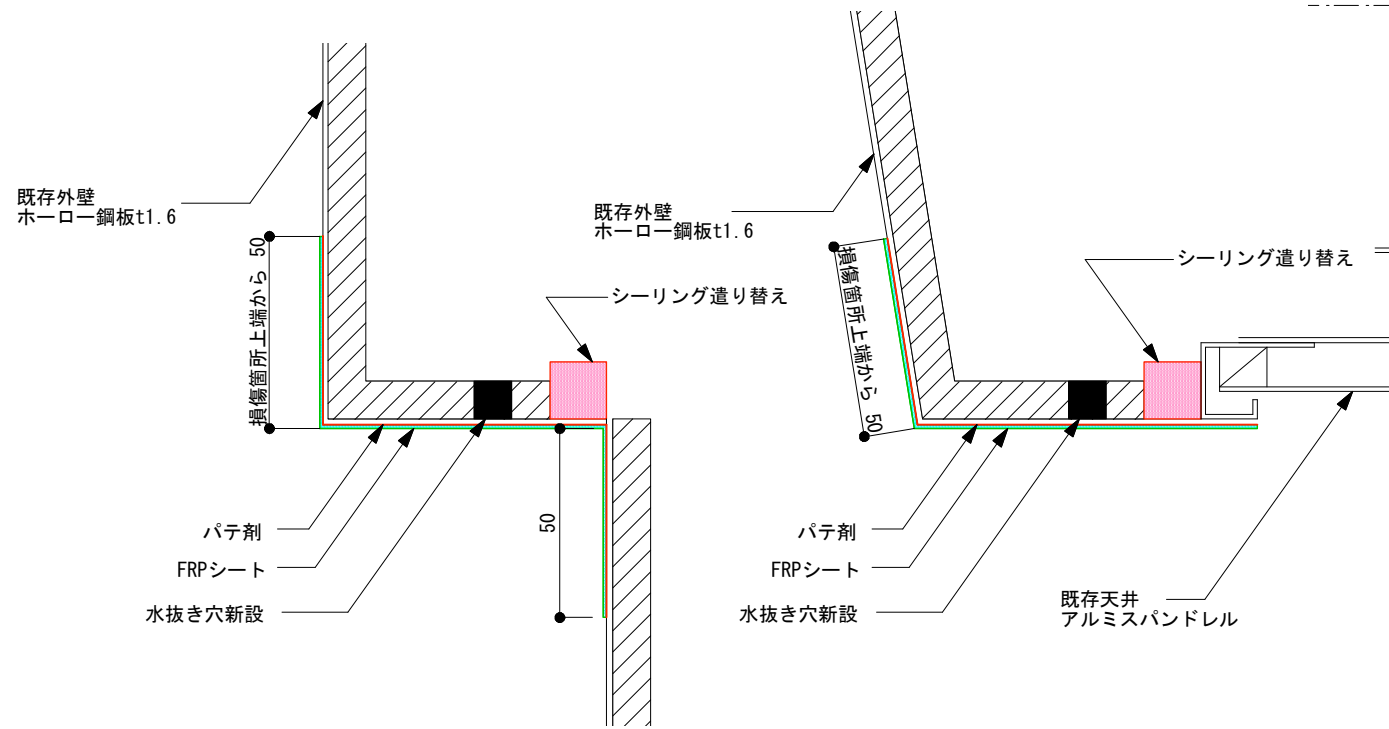
- ※建築限界に抵触する恐れのある作業について、夜間線路閉鎖の上、実施すること。
- ※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。
- ※下地調整において、塗膜または防水層に不良部が確認された場合は、除去し、同工程で施工すること。
- ※下地調整において、必要に応じて高圧洗浄を行うこと。
- ※シーリング材は、MS-2を使用すること。
- ※シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に施工すること。
- ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。
- ※使用する材料については、事前に付着試験を実施すること。
- ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。
- ※防水仕様については、設計図記載のダイフレックス(株)製品の性能と同等以上とすること。
- ※屋根上作業においては、親綱を用いて落下防止対策を施すこと。

注記

1. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で、形状寸法を確認すること。
2. 図中の補修範囲は、現地踏査及び点検結果に基づくものであり、施工にあたっては、現地状況を十分に把握し、監督員の了承の上で行うこと。
3. 土木躯体との取り合い、または異種金属同士の取り合いは特記なき限り絶縁ゴムシートt=2にて縁を切るものとする。
4. 既存部解体、撤去に際してはアスベスト対策を講じること。



# 外壁補修詳細図 (S:1/2)

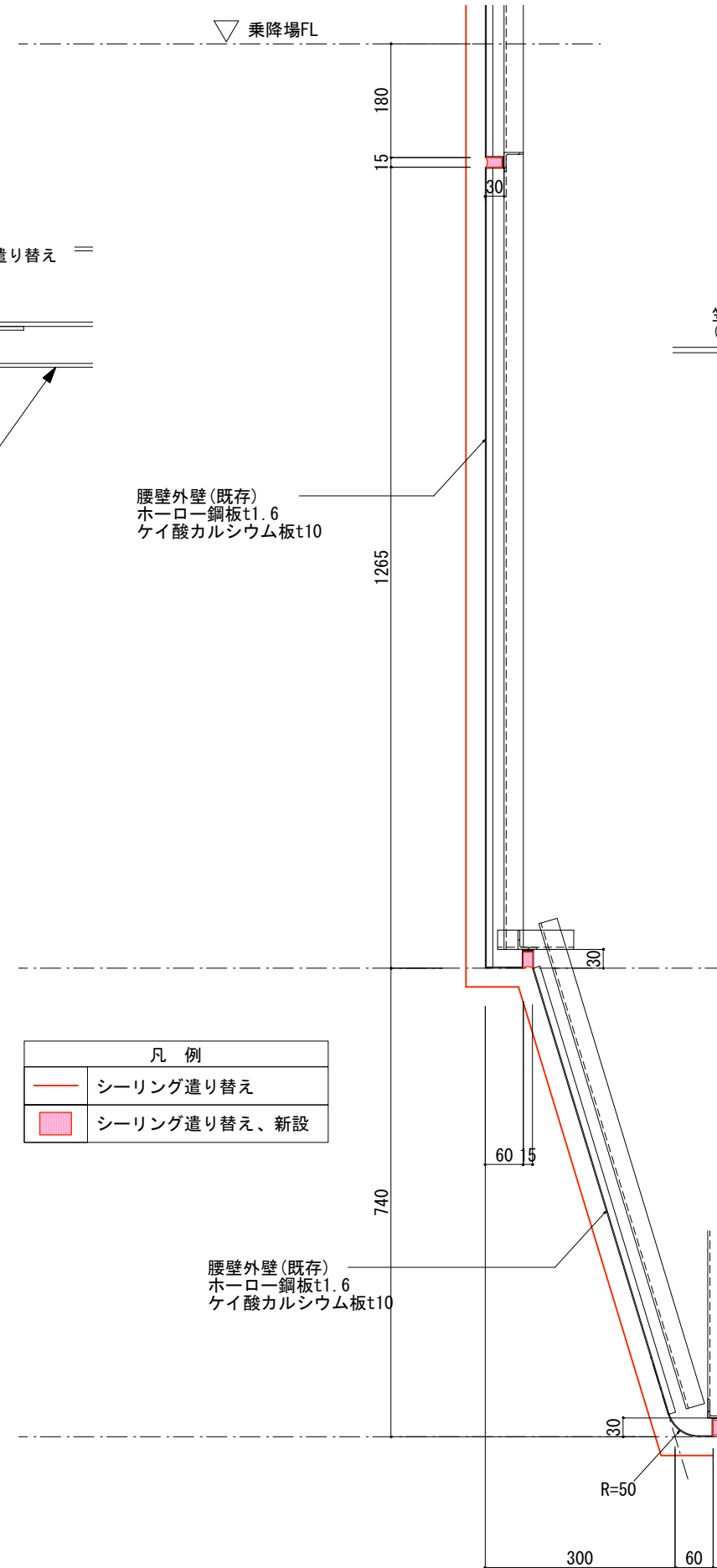


## 外壁補修仕様 (参考)

既存下地	
素地調整	RC種 汚れ・付着物除去、研磨紙ざりP240~320
下地調整	2液混合型エポキシ樹脂製パテ剤
FRPシート設置	紫外線硬化型FRPシート 厚み1.5mm
上塗塗装	ポリウレタン樹脂 0.10kg/m <sup>2</sup> DP塗装

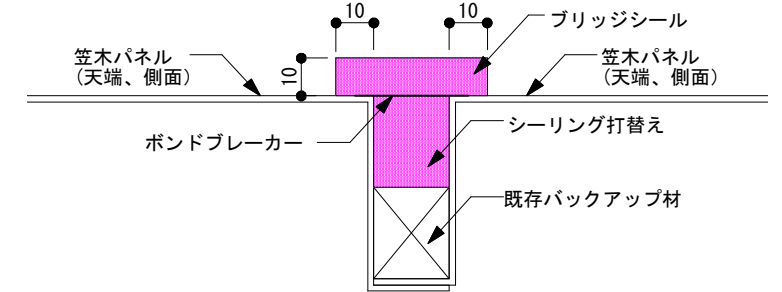
※建築限界に抵触する恐れのある作業について、夜間線路閉鎖の上、実施すること。  
 ※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。  
 ※下地調整において、塗膜または防水層に不良部が確認された場合は、除去し、同工程で施工すること。  
 ※下地調整において、必要に応じて高圧洗浄を行うこと。  
 ※シーリング材は、MS-2を使用すること。  
 ※シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に施工すること。  
 ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。  
 ※使用する材料については、事前に付着試験を実施すること。  
 ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。  
 ※防水仕様については、設計図記載のダイフレックス(株)製品の性能と同等以上とすること。  
 ※屋根上作業においては、親綱を用いて落下防止対策を施すこと。

# 外壁形状断面図 (S:1/10)



凡 例	
	シーリング遣り替え
	シーリング遣り替え、新設

# 笠木シーリング詳細図 (S:1/2)



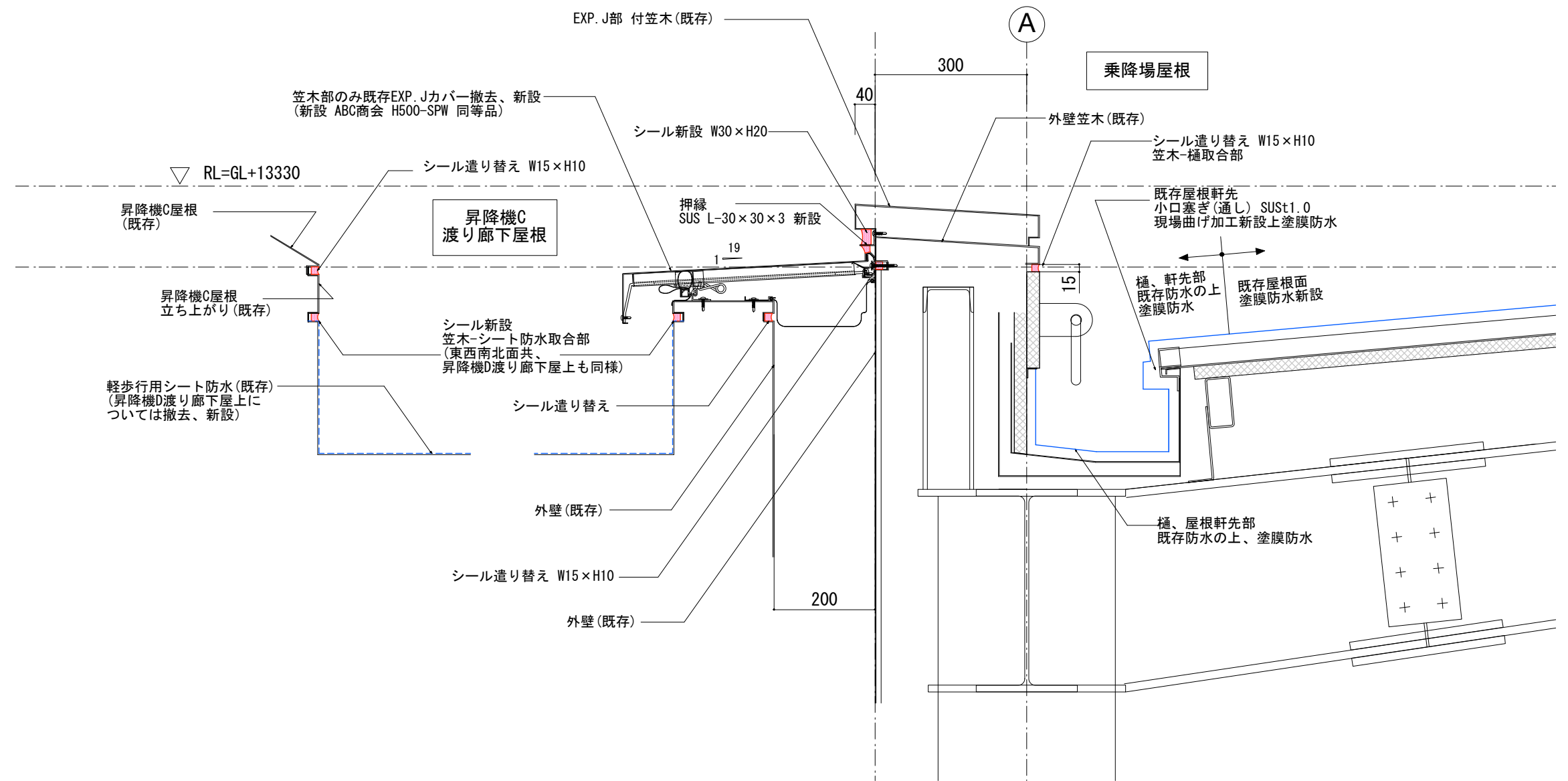
## シーリング遣り替え仕様 (参考)

既存シーリング撤去	
プライマー塗布	
バックアップ材挿入	
シーリング充填	2成分型変成シリコン

注記  
 1. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で、形状寸法を確認すること。  
 2. 図中の補修範囲は、現地踏査及び点検結果に基づくものであり、施工にあたっては、現地状況を十分に把握し、監督員の了承の上で行うこと。  
 3. 土木躯体との取り合い、または異種金属同士の取り合いは特記なき限り絶縁ゴムシートt=2にて縁を切るものとする。  
 4. 既存部解体、撤去に際してはアスベスト対策を講ずること。



# 昇降機C 連絡通路上部 EXP. Jカバー交換部詳細図(S:1/10)

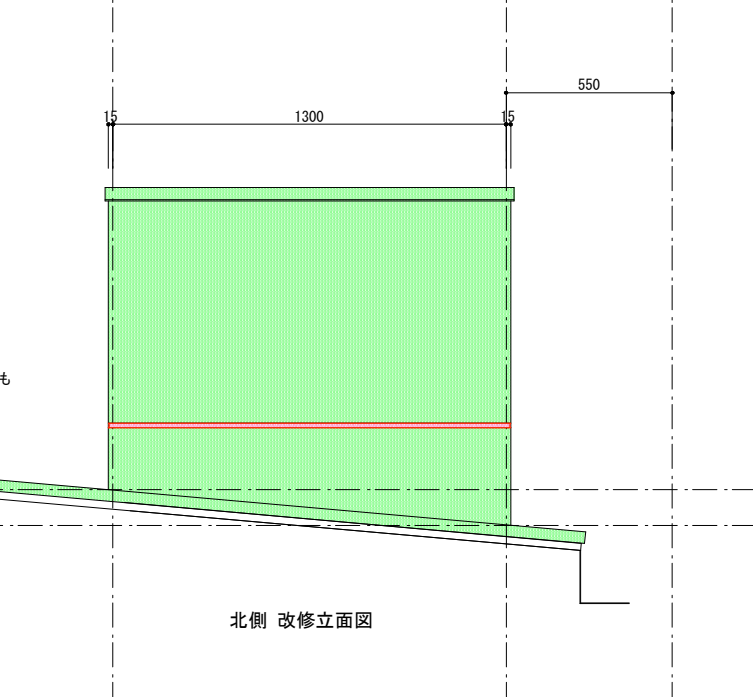
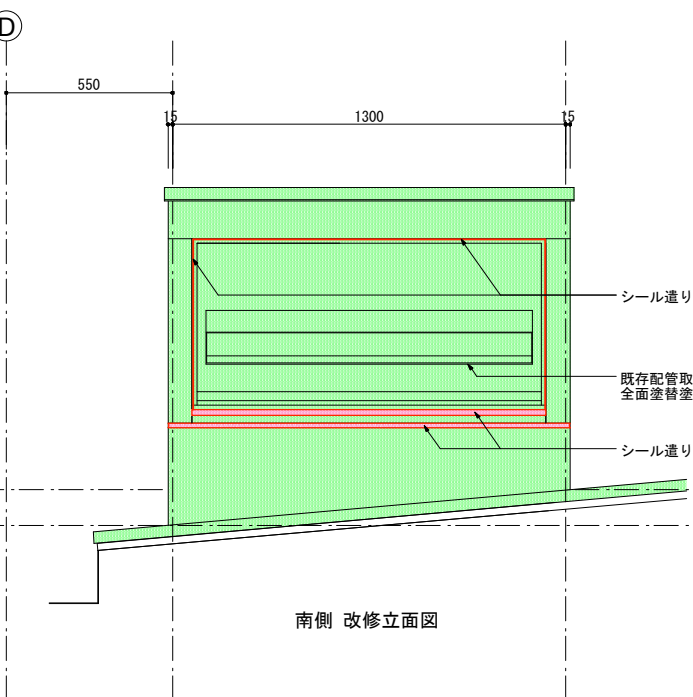
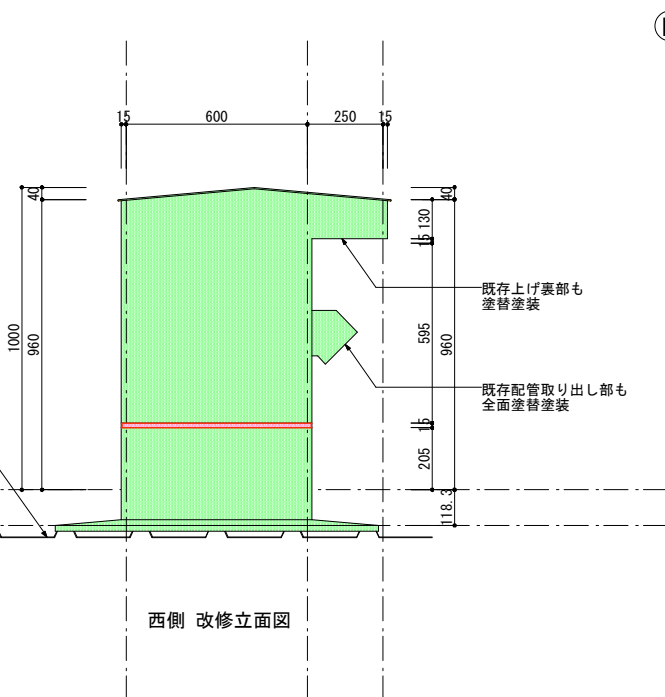
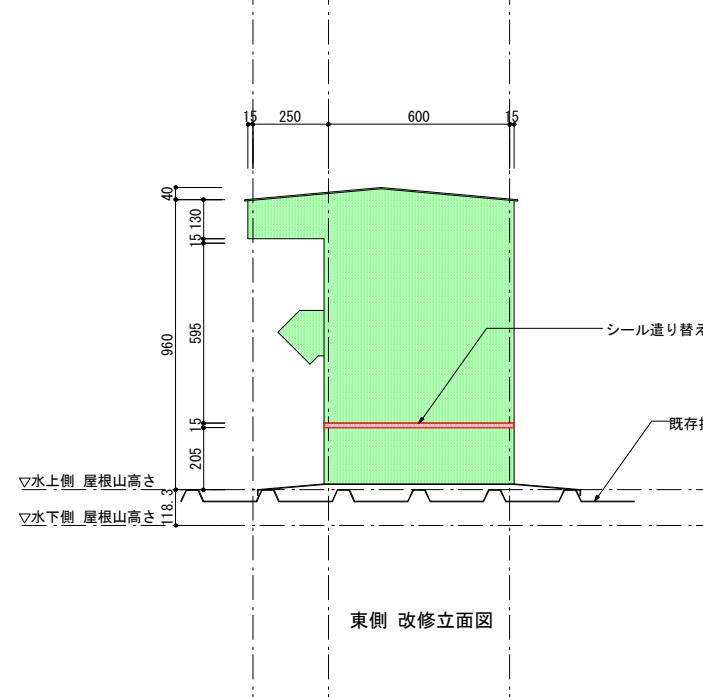
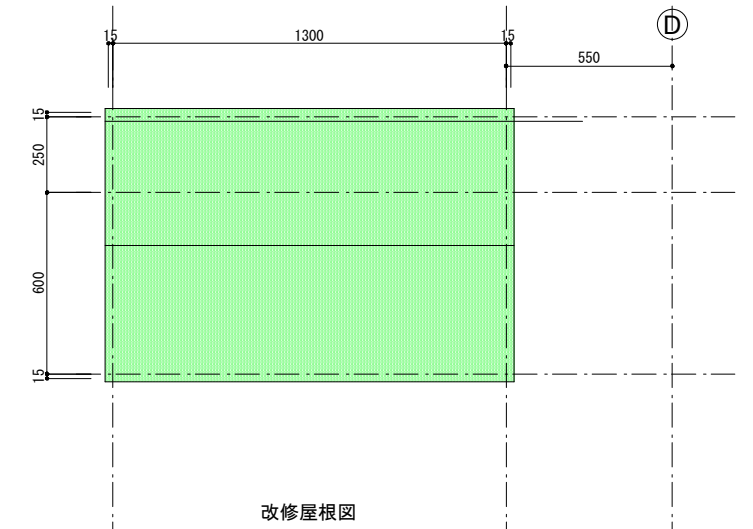
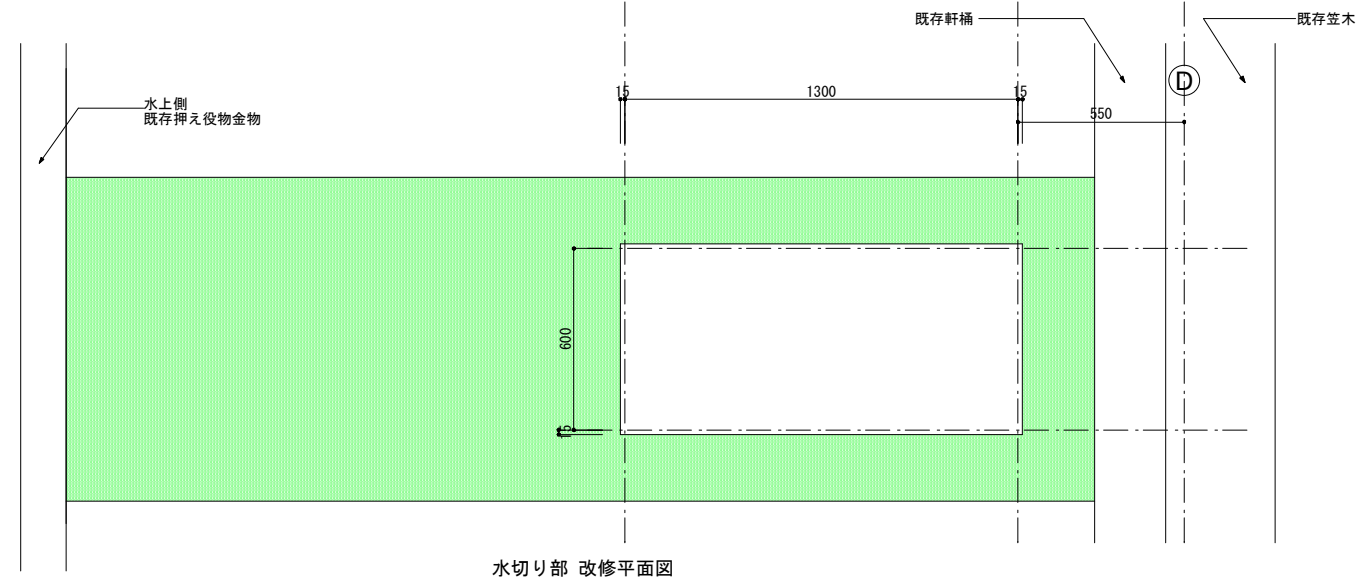
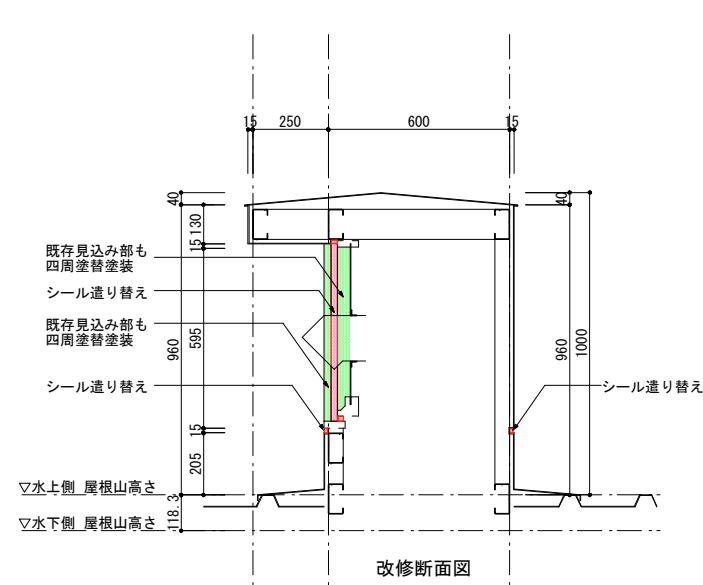


- 注記
1. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で、形状寸法を確認すること。
  2. 図中の補修範囲は、現地踏査及び点検結果に基づくものであり、施工にあたっては、現地状況を十分に把握し、監督員の了承の上で行うこと。
  3. 土木躯体との取り合い、または異種金属同士の取り合いは特記なき限り絶縁ゴムシートt=2にて縁を切るものとする
  4. 既存部解体、撤去に際してはアスベスト対策を講じること

※建築限界に抵触する恐れのある作業について、夜間線路閉鎖の上、実施すること。  
 ※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。  
 ※下地調整において、塗膜または防水層に不良部が確認された場合は、除去し、同工程で施工すること。  
 ※下地調整において、必要に応じて高圧洗浄を行うこと。  
 ※シーリング材は、MS-2を使用すること。  
 ※シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に施工すること。  
 ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。  
 ※使用する材料については、事前に付着試験を実施すること。  
 ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。  
 ※防水仕様については、設計図記載のダイフレックス(株)製品の性能と同等以上とすること。  
 ※屋根上作業においては、親綱等を用いて落下防止対策を施すこと。

記 号	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	部分詳細図3	日付	R4.03.11	巻数	18
								工事箇所			縮尺	1/10	図面番号		





## EPSハト小屋改修図 S:1/25

※東西ハト小屋共に改修とする

凡例	
	既存仕上げ(ハト小屋、水切り共に化粧鋼板)ケレン(三種)後、塗装塗装(ポリウレタン樹脂 DP塗装)
	シール遣り替え

- ※建築限界に抵触する恐れのある作業について、夜間線路閉鎖の上、実施すること。
- ※腐食部または欠損部を有する部材の補修および撤去については、監督員と協議すること。
- ※下地調整において、塗膜または防水層に不良部が確認された場合は、除去し、同工程で施工すること。
- ※下地調整において、必要に応じて高圧洗浄を行うこと。
- ※シーリング材は、MS-2を使用すること。
- ※シーリング面に塗装仕上げを行う場合は、シーリング材が硬化した後に施工すること。
- ※上塗り塗装色は、発注者と協議の上、決定すること。
- ※使用する材料については、事前に付着試験を実施すること。
- ※塗装仕様については、公共建築改修工事標準仕様書の性能と同等以上とすること。
- ※防水仕様については、設計図記載のダイフレックス(株)製品の性能と同等以上とすること。
- ※屋根上作業においては、親綱等を用いて落下防止対策を施すこと。

- 注記
1. 施工にあたっては、現地にて計測を行った上で、形状寸法を確認すること。
  2. 図中の補修範囲は、現地踏査及び点検結果に基づくものであり、施工にあたっては、現地状況を十分に把握し、監督員の了承の上で行うこと。
  3. 土木躯体との取り合い、または異種金属同士の取り合いは特記なき限り絶縁ゴムシートt=2にて縁を切るものとする
  4. 既存部解体、撤去に際してはアスベスト対策を講じること

記 率	千葉都市モノレール株式会社				管理	照査	担当	工事名称	駅舎改修工事	図面名称	雑詳細図(EPSハト小屋改修図)	日付	R4.03.11	巻数	1/25	図面番号	19
									工事箇所			縮尺					



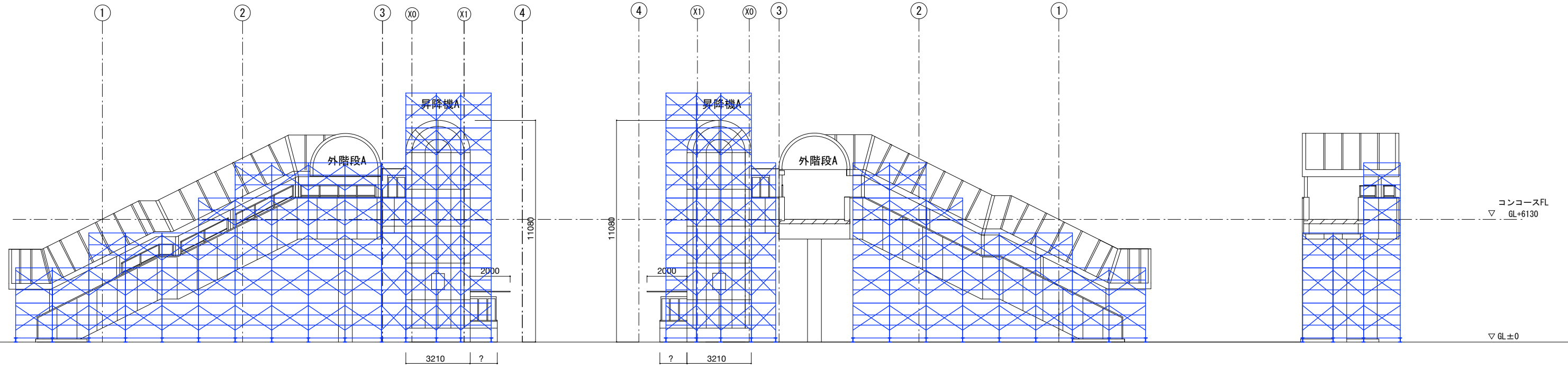




駅舎東側階段A 東立面図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 西立面図 (S:1/200)

駅舎東側階段A 北立面図 (S:1/200)



凡例	
— 枠組本足場 (昼間作業)	— 張出し足場+枠組本足場 (昼間作業)
— 張出し足場+枠組本足場 (深夜間作業)	

駅舎西側階段B 東立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 西立面図 (S:1/200)

駅舎西側階段B 北立面図 (S:1/200)

